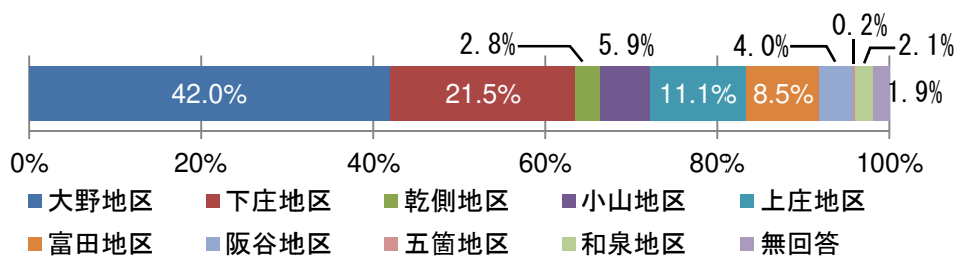
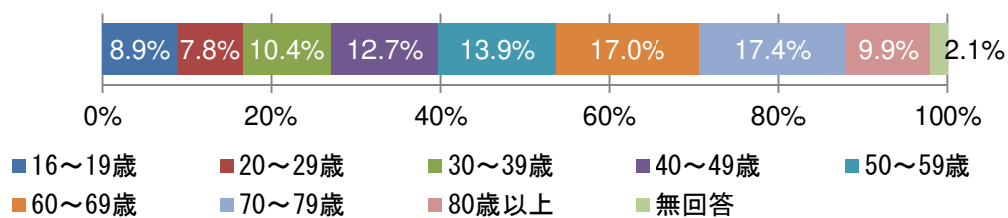
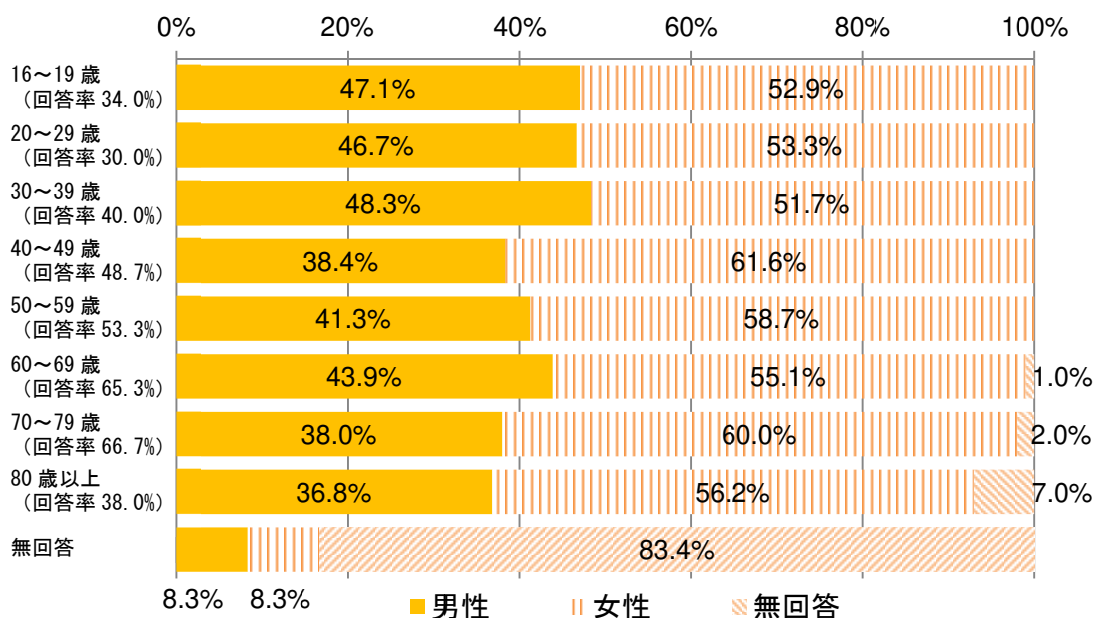
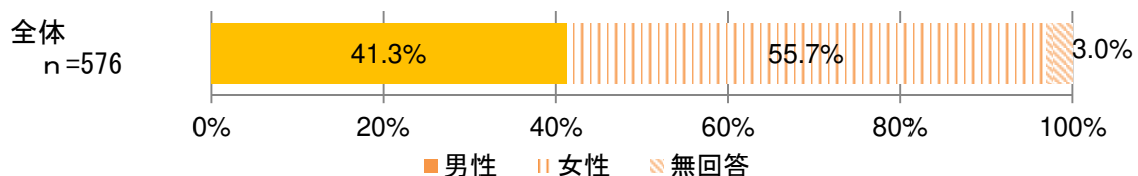


---

## 市民アンケートの集計結果

## 問1 性別、問2 年齢、問3 居住地区

- ◆年齢は、「70～79歳」が17.4%と最も多く、次いで「60～69歳」となっている。若年層は、「16～19歳」と「20～29歳」を合わせて16.7%となっている。
- ◆「居住地区は、「大野地区」が42.0%と最も多く、次いで「下庄地区」となっている。



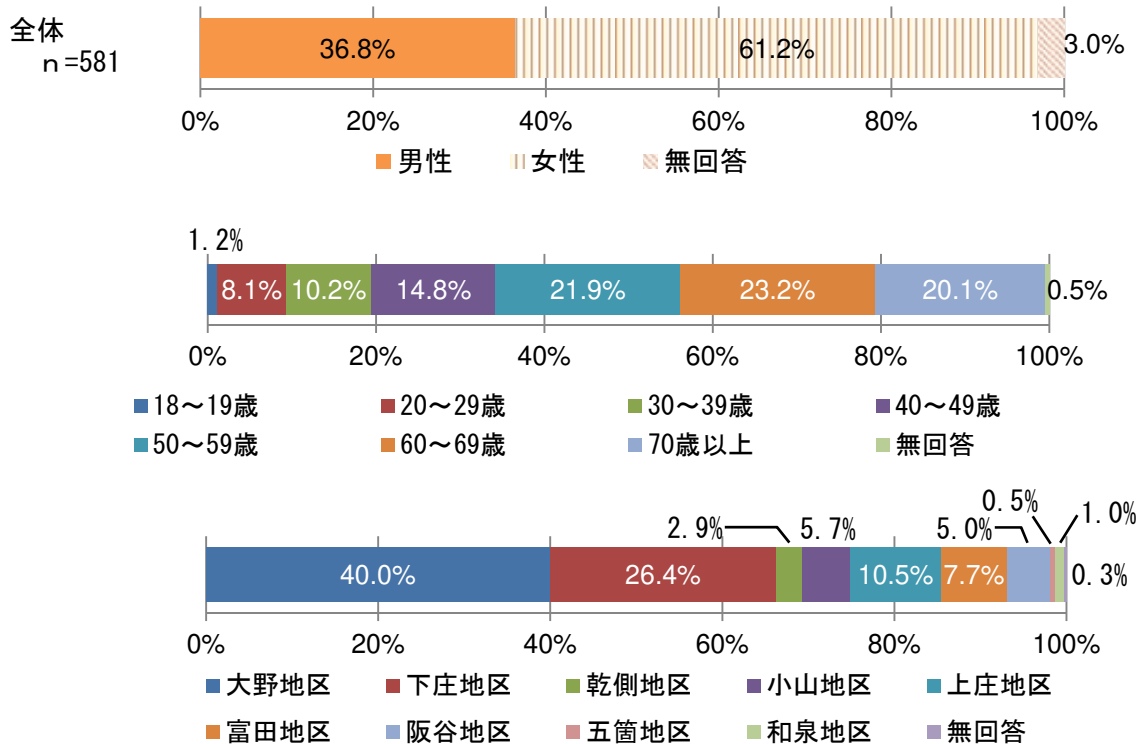
地区別、性別、年齢別 回答者数

(人)

地区	性別	年齢								合計	
		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		無回答
<b>全体</b>		<b>51</b>	<b>45</b>	<b>60</b>	<b>73</b>	<b>80</b>	<b>98</b>	<b>100</b>	<b>57</b>	<b>12</b>	<b>576</b>
	男性	24	21	29	28	33	43	38	21	1	238
	女性	27	24	31	45	47	54	60	32	1	321
	無回答	0	0	0	0	0	1	2	4	10	17
	<b>回答率</b>	<b>34.0%</b>	<b>30.0%</b>	<b>40.0%</b>	<b>48.7%</b>	<b>53.3%</b>	<b>65.3%</b>	<b>66.7%</b>	<b>38.0%</b>	—	<b>48.0%</b>
大野地区		28	15	18	36	42	34	43	25	1	242
下庄地区		9	12	21	10	16	16	27	13		124
乾側地区			3		1	2	5	3	2		16
小山地区		1	3	3	6	4	4	7	6		34
上庄地区		4	5	8	9	7	17	11	3		64
富田地区		4	6	5	7	8	8	6	5		49
阪谷地区		4	1	3	3		9	1	2		23
五箇地区								1			1
和泉地区		1		2	1		5	1	1	1	12
無回答						1				10	11

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



## 問4 環境問題（全般）に対する関心度・重要度

### 【関心度と重要度の関係】

- ◆ 「③地下水の水質汚濁、地下水位の低下」「⑨ごみ問題」「⑩地球環境問題」は、全ての年齢で「重要度が高く、関心度が高い」となった。
- ◆ 「④自動車や工場などからの騒音・振動」は、10代から40代では「重要度が低く、関心が低い」となった。

### 【関心度】

- ◆ 「16～19歳」「20～29歳」「30～39歳」で最も関心度が高かったのは、「⑩地球環境問題」となったが、全ての項目において全体（平均）以下の関心度となっている。
- ◆ 「50～59歳」「60～69歳」「70～79歳」では、「⑨ごみ問題」が最も関心度が高い結果となった。

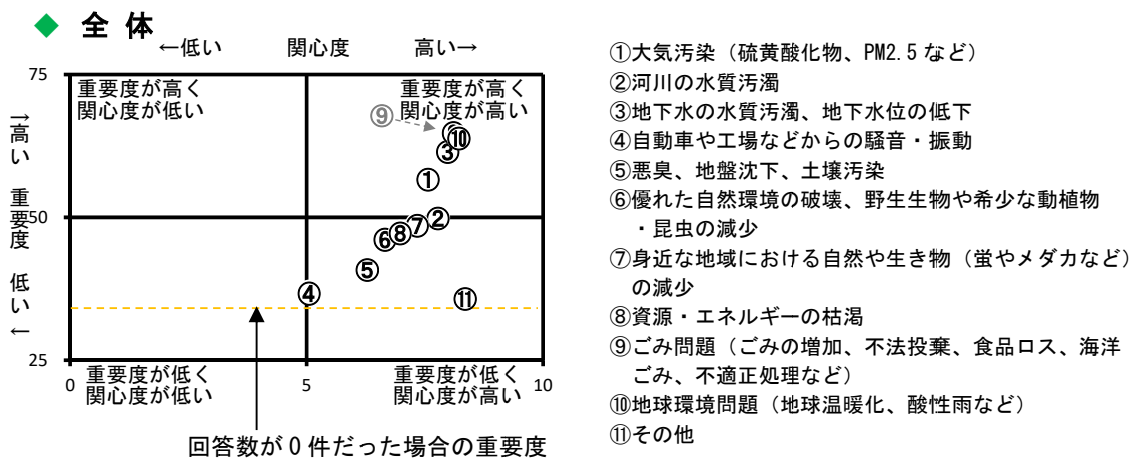
### 【重要度】

- ◆ 「⑨ごみ問題」「⑩地球環境問題」は、多くの年齢で重要度が高い結果となった。
- ◆ 「16～19歳」「20～29歳」では、「⑥優れた自然環境の破壊、野生生物や希少な動植物・昆虫の減少」「⑦身近な地域における自然や生き物の減少」「⑧資源・エネルギーの枯渇」が、他の年齢に比べて重要度が高い。
- ◆ すべての年齢において、「④自動車や工場などからの騒音・振動」が最も重要度が低く、10代を除く年齢で「⑤悪臭、地盤沈下、土壤汚染」が次に低い

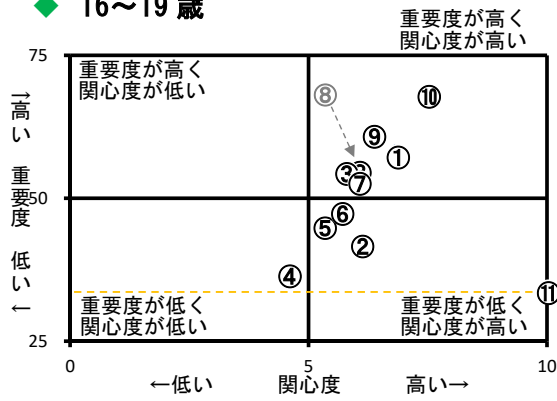
※関心度は、「関心ある（10点）」、「少しある（7点）」、「あまりない（3点）」、「ない（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

※重要度は、選択肢間で相対的に重要かどうかを示す値として、次の式で求めています。

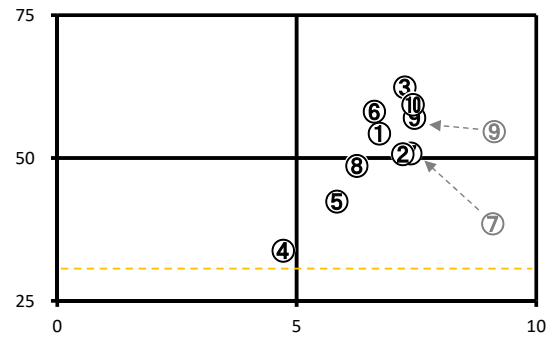
$$\text{重要度} = (\text{各選択肢の回答数} - \text{平均値}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 50 \quad (\text{平均} = 50)$$



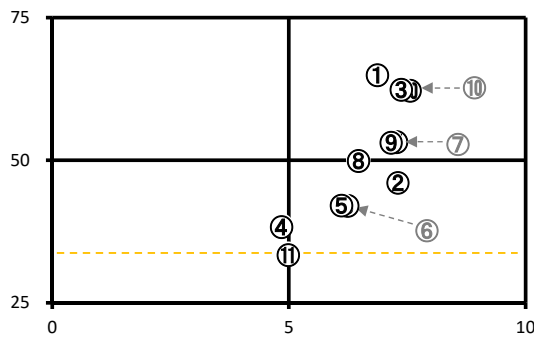
◆ 16~19 歳



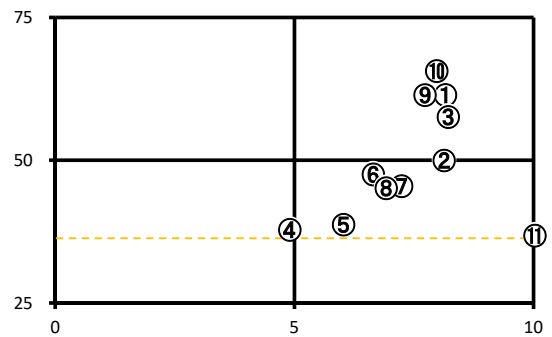
◆ 20~29 歳



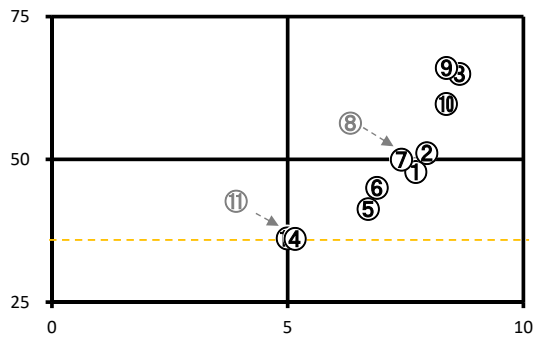
◆ 30~39 歳



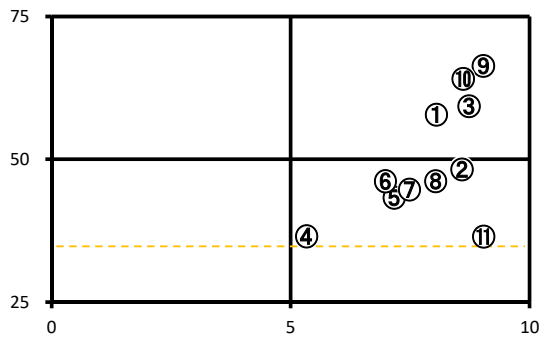
◆ 40~49 歳



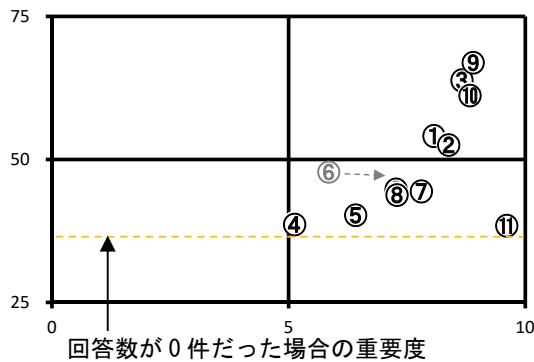
◆ 50~59 歳



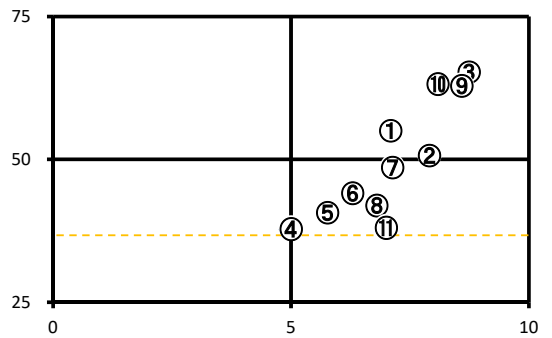
◆ 60~69 歳



◆ 70~79 歳



◆ 80歳以上



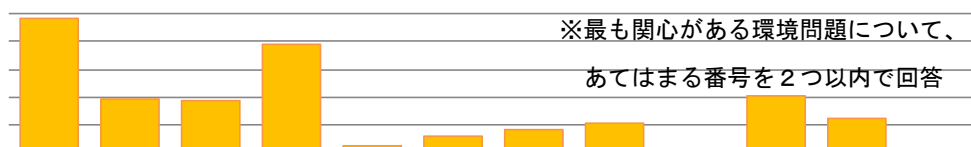
◆ 「⑪その他」の回答（自由記述を要約）

（16～19歳）森林の減少/（30～39歳）ホテル存続可能な場所作り/（40～49歳）鳥獣害/廃墟、空き家/（50～59歳）熊出没/人口減少/空き家/（60～69歳）獣害/交通の便/感染症/外国人労働者のマナー/自然エネルギーの活用/飲料水（地下水、上水道、村部の飲料水谷の水）の減少/（70～79歳）山林の荒廃/空地空き家の増加/家周辺の草刈り/地域、集落の美化活動/地元を大切にする心/（80歳以上）山林の放置、林道の荒廃/

年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	無回答
			大気汚染	濁河川の水質汚	位の低下 地下水の水質	音などからの騒動	自動車や工場の騒動	下悪臭、地盤沈下	物の破壊、野生動物の減少	優れた自然環境の減少	身近な自然の減少	資源・エネルギーの枯渇	ごみ問題	
全体 (n=576)	関心度	点数	7.6点	7.8点	8.0点	5.0点	6.3点	6.7点	7.3点	7.0点	8.1点	8.1点	8.4点	
		回答数	539	538	541	527	527	535	538	525	544	546	22	
	重要度	割合	32.5%	21.9%	40.1%	3.0%	9.9%	17.4%	19.8%	18.6%	42.9%	42.5%	1.6%	
16～19歳 (n=51)	関心度	点数	6.8点	6.1点	5.8点	4.6点	5.3点	5.7点	6.1点	6.0点	6.3点	7.5点	10.0点	
		回答数	51	51	50	51	51	51	51	51	51	51	1	
	重要度	割合	35.3%	11.8%	29.4%	3.9%	15.7%	19.6%	27.5%	29.4%	39.2%	49.0%		
20～29歳 (n=45)	関心度	点数	6.7点	7.2点	7.2点	4.7点	5.8点	6.6点	7.3点	6.2点	7.4点	7.4点		
		回答数	45	45	45	43	45	45	45	45	45	45	0	
	重要度	割合	31.1%	26.7%	42.2%	4.4%	15.6%	35.6%	26.7%	24.4%	35.6%	37.8%		
30～39歳 (n=60)	関心度	点数	6.9点	7.3点	7.4点	4.8点	6.1点	6.2点	7.2点	6.4点	7.1点	7.5点	5.0点	
		回答数	59	59	58	58	58	59	58	59	59	59	2	
	重要度	割合	41.7%	16.7%	38.3%	6.7%	11.7%	11.7%	26.7%	21.7%	26.7%	38.3%		
40～49歳 (n=73)	関心度	点数	8.1点	8.1点	8.2点	4.9点	6.0点	6.7点	7.2点	6.9点	7.7点	7.9点	10.0点	
		回答数	70	70	69	69	69	69	68	67	69	71	2	
	重要度	割合	42.5%	23.3%	35.6%	2.7%	4.1%	17.8%	15.1%	15.1%	42.5%	47.9%	1.4%	
50～59歳 (n=80)	関心度	点数	7.7点	7.9点	8.6点	5.2点	6.7点	6.9点	7.4点	7.4点	8.3点	8.3点	5.0点	
		回答数	79	79	79	79	79	79	80	79	79	79	2	
	重要度	割合	20.0%	25.0%	47.5%	1.3%	10.0%	15.0%	23.8%	23.8%	50.0%	40.0%	1.3%	
60～69歳 (n=98)	関心度	点数	8.0点	8.6点	8.7点	5.3点	7.2点	7.0点	7.4点	8.0点	9.0点	8.6点	9.0点	
		回答数	94	93	92	91	90	94	94	93	95	95	6	
	重要度	割合	35.7%	20.4%	37.8%	2.0%	13.3%	17.3%	14.3%	17.3%	46.9%	43.9%	3.1%	
70～79歳 (n=100)	関心度	点数	8.1点	8.4点	8.6点	5.1点	6.4点	7.3点	7.8点	7.3点	8.8点	8.8点	9.6点	
		回答数	87	87	92	85	84	86	87	85	91	89	7	
	重要度	割合	30.0%	27.0%	47.0%	3.0%	7.0%	14.0%	14.0%	13.0%	52.0%	42.0%	3.0%	
80歳以上 (n=57)	関心度	点数	7.1点	7.9点	8.7点	4.9点	5.8点	6.3点	7.1点	6.8点	8.6点	8.1点	7.0点	
		回答数	49	49	51	46	46	46	49	41	50	51	2	
	重要度	割合	29.8%	22.8%	45.6%	1.8%	7.0%	12.3%	19.3%	8.8%	42.1%	42.1%	1.8%	
無回答 (n=12)	関心度	点数	8.0点	8.8点	6.0点	6.0点	6.8点	9.0点	9.5点	8.8点	8.8点	9.0点		
		回答数	5	5	5	5	5	6	6	5	5	6	0	
	重要度	割合	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	25.0%	25.0%	16.7%	33.3%		
		回答数	1	1	0	0	0	4	3	3	2	4	0	18

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



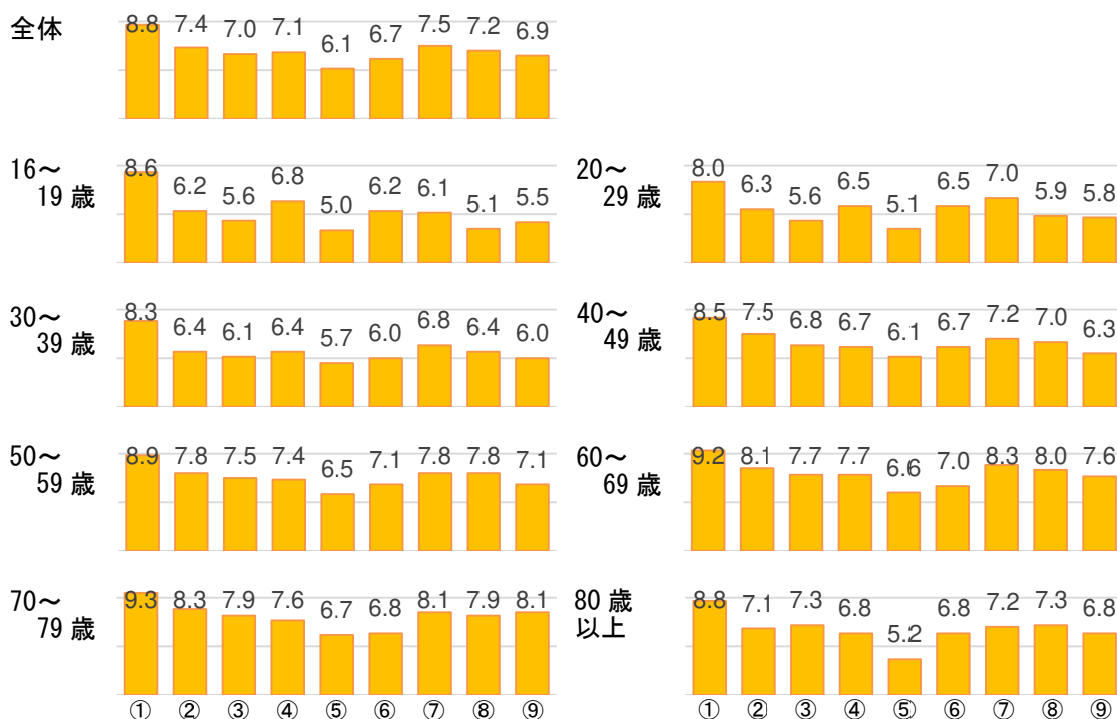
年齢	集計	地球環境問題	大気汚染	濁河川の水質汚	の汚濁、地下水の水質	音などからの騒動	自動車や工場の騒動	下悪臭、地盤沈下	境優れた自然環境	減おける自然環境	動植物の減少	カホンカモシ	少なき物の減	ホテルやメダ	ギ-の枯渇	資源・エネルギー	その他
全体 n=581	割合	48.0%	19.4%	18.9%	38.9%	2.9%	6.2%	8.3%	10.5%	1.7%	20.8%	12.4%	0.3%				
	回答数	279	279	110	226	17	36	48	61	10	121	72	2				

## 問5 地球規模の環境問題への関心度

- ◆全ての年齢において「①地球温暖化」が最も関心度が高く、次いで「⑦海洋汚染」が、各年齢において高い傾向にある。
- ◆39歳以下は、全ての項目において全体（平均）以下の関心度となっている。また、「①地球温暖化」を除くすべての項目において7点（関心が少しある）未満となっており、関心の低さが伺える。
- ◆「16～19歳」「20～29歳」では、「②酸性雨」「⑤砂漠化」「⑧有害廃棄物の国境を越えた移動」「⑨開発途上国の環境問題」が5点台となっており、関心度が低い。
- ◆全体（平均）の全ての項目において、前回調査の点数を上回っており、意識の高まりを感じる。

※関心度は「関心ある（10点）」、「少しある（7点）」、「あまりない（3点）」、「ない（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

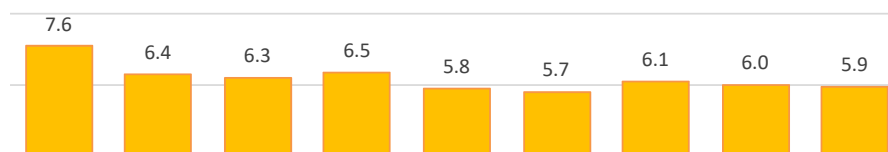
- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| ①地球温暖化が進んでいること            | ②フロンなどによってオゾン層が破壊されていること    |
| ③大気汚染などによって酸性雨の問題が起きていること | ④伐採などによって森林（特に熱帯林）が減少していること |
| ⑤砂漠化が急激に進んでいること           | ⑥野生生物が絶滅または減少していること         |
| ⑦有害物質などによって海洋が汚染されていること   | ⑧有害な廃棄物が国境を越えて移動していること      |
| ⑨開発途上国の環境問題が深刻になっていること    |                             |



年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		地球温暖化	オゾン層の破壊	大気汚染などによる酸性雨	森林の減少(特に熱帯林)	急激な砂漠化	野生生物が絶滅または減少	海洋汚染	有害物質などによる	有害な廃棄物の国境移動
全体 (n=576)	点数	8.8点	7.4点	7.0点	7.1点	6.1点	6.7点	7.5点	7.2点	6.9点
	回答数	572	564	561	563	561	564	562	565	563
16～19歳 (n=51)	点数	8.6点	6.2点	5.6点	6.8点	5.0点	6.2点	6.1点	5.1点	5.5点
	回答数	51	51	51	51	51	51	51	51	51
20～29歳 (n=45)	点数	8.0点	6.3点	5.6点	6.5点	5.1点	6.5点	7.0点	5.9点	5.8点
	回答数	45	45	44	45	45	45	45	45	45
30～39歳 (n=60)	点数	8.3点	6.4点	6.1点	6.4点	5.7点	6.0点	6.8点	6.4点	6.0点
	回答数	60	60	59	60	60	60	60	60	60
40～49歳 (n=73)	点数	8.5点	7.5点	6.8点	6.7点	6.1点	6.7点	7.2点	7.0点	6.3点
	回答数	73	72	71	71	70	72	71	70	71
50～59歳 (n=80)	点数	8.9点	7.8点	7.5点	7.4点	6.5点	7.1点	7.8点	7.8点	7.1点
	回答数	80	80	80	80	79	80	79	80	80
60～69歳 (n=98)	点数	9.2点	8.1点	7.7点	7.7点	6.6点	7.0点	8.3点	8.0点	7.6点
	回答数	96	97	96	97	96	95	95	95	96
70～79歳 (n=100)	点数	9.3点	8.3点	7.9点	7.6点	6.7点	6.8点	8.1点	7.9点	8.1点
	回答数	99	95	94	95	95	96	96	98	95
80歳以上 (n=57)	点数	8.8点	7.1点	7.3点	6.8点	5.2点	6.8点	7.2点	7.3点	6.8点
	回答数	56	52	54	52	53	53	53	54	53
無回答 (n=12)	点数	8.7点	7.3点	8.4点	7.8点	7.3点	8.3点	7.5点	7.8点	7.3点
	回答数	12	12	12	12	12	12	12	12	12

◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)



年齢	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
全体 (n=581)	点数	7.6点	6.5点	6.3点	6.5点	5.8点	5.7点	6.1点	6.0点	5.9点
	回答数	540	513	519	528	510	506	506	497	505



## 問6 居住地区の環境に対する満足度・重要度

### 【満足度と重要度の関係】

- ◆全ての年齢において「③空気のきれいさ」「⑦地下水のきれいさ」が「重要度が高く、満足度が高い」となった。
- ◆「⑥川のきれいさ」「⑫市民のマナーの良さ」は、他の項目に比べ満足度が低い一方で、重要度が高い。

### 【満足度】

- ◆多くの年齢で「①緑の豊かさ」「③空気のきれいさ」「④星空の美しさ」の満足度が高い一方で、「⑥川のきれいさ」「⑫市民のマナーの良さ」が低い結果となった。
- ◆10代を除く年齢において、「⑥川のきれいさ」「⑪歴史・文化との接しやすさ」「⑫市民のマナーの良さ」が7点（ほぼ満足）未満となっており、満足度が低い。
- ◆39歳以下の年齢では、ほとんどの項目において全体（平均）を超える満足度であるのに対し、40歳以上では、1～3項目を超えるのみである。
- ◆全体（平均）の全ての項目において、前回調査より満足度が高くなっており、特に「⑤においが気にならないこと」は2.2点、「⑫市民のマナー」は1.2点と大きく上昇している。

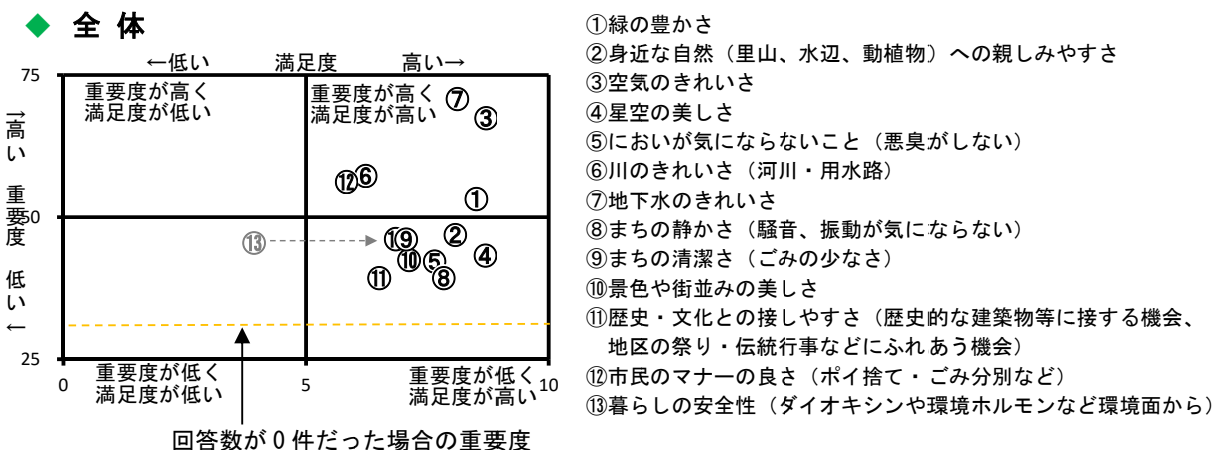
### 【重要度】

- ◆多くの年齢において「③空気のきれいさ」「⑦地下水のきれいさ」の重要度が高い一方で、「⑧まちの静かさ」「⑪歴史・文化との接しやすさ」は重要度が低い。
- ◆前回調査に比べ、「⑬暮らしの安全性」の重要度が大きく低下している。

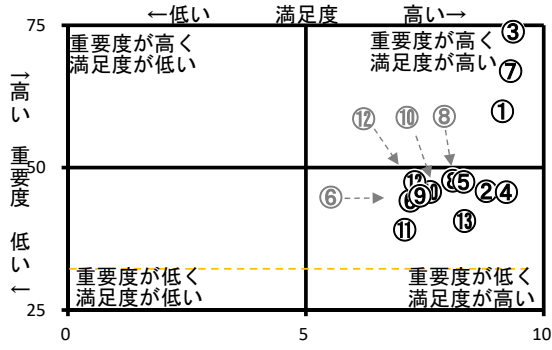
※満足度は「満足（10点）」、「ほぼ満足（7点）」、「やや不満（3点）」、「不満（0点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

※重要度は、選択肢間で相対的に重要かどうかを示す値として、次の式で求めています。

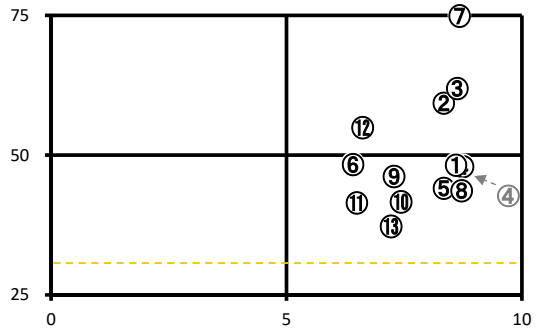
$$\text{重要度} = (\text{各選択肢の回答数} - \text{平均値}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 50 \quad (\text{平均} = 50)$$



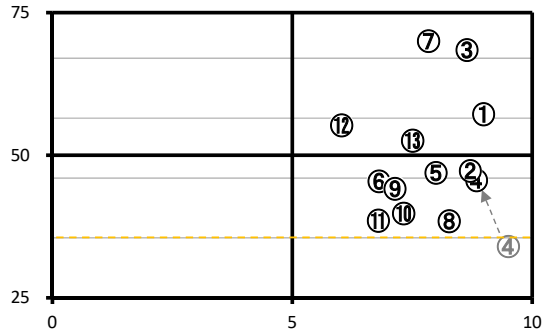
◆ 16~19 歳



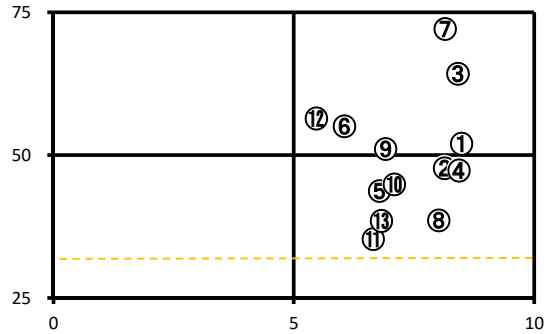
◆ 20~29 歳



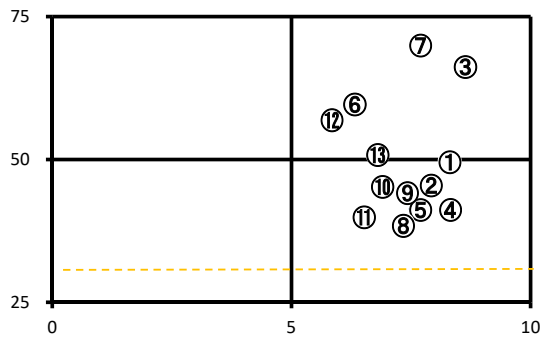
◆ 30~39 歳



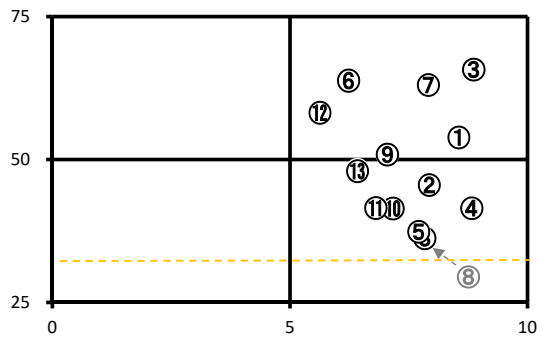
◆ 40~49 歳



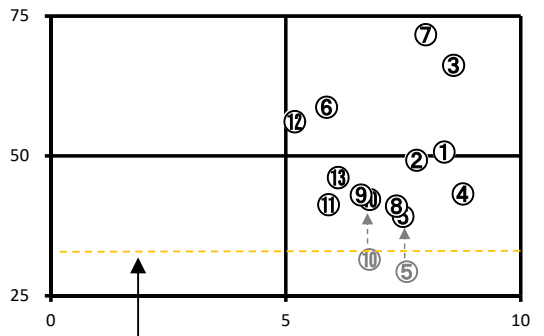
◆ 50 歳~59 歳



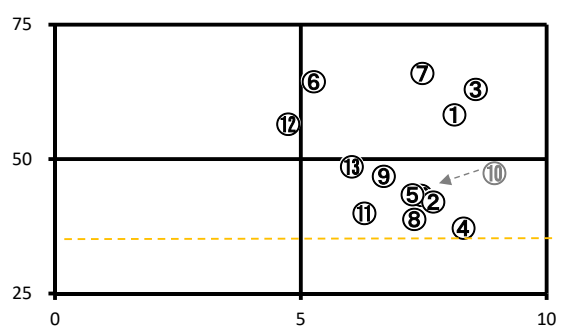
◆ 60 歳~69 歳



◆ 70~79 歳



◆ 80 歳以上

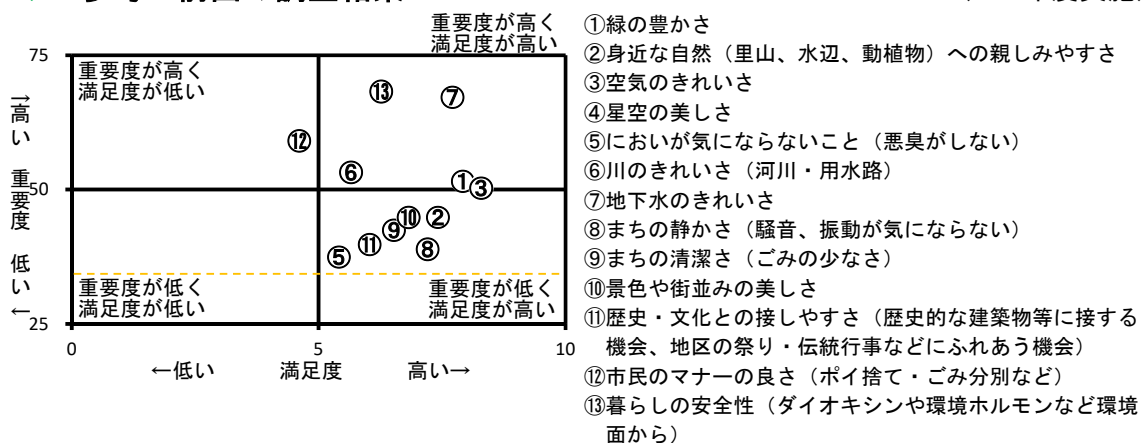


回答数が0件だった場合の重要度

年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答
全体 (n=576)	満足度	点数	8.5点	8.1点	8.7点	8.7点	7.7点	6.2点	8.1点	7.8点	7.0点	7.1点	6.5点	5.8点	6.8点	
		回答数	558	554	565	554	551	559	554	555	552	553	555	559	546	
	重要度	割合	21.7%	15.5%	35.1%	11.6%	10.2%	25.0%	38.4%	7.8%	14.6%	10.9%	7.8%	24.1%	14.6%	
		回答数	125	89	202	67	59	144	221	45	84	63	45	139	84	361
16～ 19歳 (n=51)	満足度	点数	9.1点	8.8点	9.4点	9.2点	8.3点	7.2点	9.3点	8.1点	7.4点	7.6点	7.1点	7.3点	8.3点	
		回答数	51	51	51	51	51	50	50	51	50	51	51	51	51	
	重要度	割合	31.4%	15.7%	47.1%	15.7%	17.6%	13.7%	39.2%	17.6%	15.7%	15.7%	7.8%	17.6%	9.8%	
		回答数	16	8	24	8	9	7	20	9	8	8	4	9	5	18
20～ 29歳 (n=45)	満足度	点数	8.6点	8.3点	8.6点	8.7点	8.3点	6.4点	8.5点	8.7点	7.3点	7.4点	6.5点	6.6点	7.2点	
		回答数	44	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	
	重要度	割合	17.8%	28.9%	31.1%	17.8%	13.3%	17.8%	44.4%	13.3%	15.6%	11.1%	11.1%	24.4%	6.7%	
		回答数	8	13	14	8	6	8	20	6	7	5	5	11	3	21
30～ 39歳 (n=60)	満足度	点数	9.0点	8.7点	8.7点	8.8点	8.0点	6.8点	7.8点	8.3点	7.1点	7.3点	6.8点	6.0点	7.5点	
		回答数	59	59	58	59	59	59	59	59	59	58	58	59	58	
	重要度	割合	25.0%	13.3%	38.3%	11.7%	13.3%	11.7%	40.0%	3.3%	10.0%	5.0%	3.3%	23.3%	20.0%	
		回答数	15	8	23	7	8	7	24	2	6	3	2	14	12	49
40～ 49歳 (n=73)	満足度	点数	8.5点	8.1点	8.4点	8.4点	6.8点	6.0点	8.1点	8.0点	6.9点	7.1点	6.7点	5.5点	6.8点	
		回答数	73	73	73	72	73	73	73	73	73	72	73	73	73	
	重要度	割合	20.5%	16.4%	32.9%	16.4%	12.3%	23.3%	41.1%	6.8%	19.2%	13.7%	4.1%	24.7%	6.8%	
		回答数	15	12	24	12	9	17	30	5	14	10	3	18	5	45
50～ 59歳 (n=80)	満足度	点数	8.3点	7.9点	8.6点	8.3点	7.6点	6.3点	7.7点	7.3点	7.4点	6.9点	6.5点	5.8点	6.8点	
		回答数	80	79	80	79	79	79	77	79	79	78	80	79	78	
	重要度	割合	17.5%	13.8%	33.8%	10.0%	10.0%	27.5%	37.5%	7.5%	12.5%	13.8%	8.8%	25.0%	18.8%	
		回答数	14	11	27	8	8	22	30	6	10	11	7	20	15	51
60～ 69歳 (n=98)	満足度	点数	8.5点	7.9点	8.8点	8.8点	7.7点	6.2点	7.9点	7.8点	7.0点	7.1点	6.8点	5.6点	6.4点	
		回答数	95	95	98	95	94	96	94	95	94	96	95	96	94	
	重要度	割合	23.5%	14.3%	36.7%	10.2%	5.1%	34.7%	33.7%	4.1%	20.4%	10.2%	10.2%	28.6%	17.3%	
		回答数	23	14	36	10	5	34	33	4	20	10	10	28	17	50
70～ 79歳 (n=100)	満足度	点数	8.4点	7.8点	8.6点	8.8点	7.5点	5.9点	8.0点	7.4点	6.6点	6.8点	6.0点	5.3点	6.1点	
		回答数	93	92	94	94	90	91	94	93	90	90	90	92	87	
	重要度	割合	19.0%	18.0%	36.0%	11.0%	7.0%	28.0%	42.0%	9.0%	11.0%	10.0%	9.0%	25.0%	14.0%	
		回答数	19	18	36	11	7	28	42	9	11	10	9	25	14	61
80歳 以上 (n=57)	満足度	点数	8.1点	7.7点	8.5点	8.3点	7.3点	5.2点	7.5点	7.3点	6.6点	7.4点	6.3点	4.8点	6.1点	
		回答数	52	49	54	48	49	54	51	49	51	52	52	53	49	
	重要度	割合	24.6%	7.0%	29.8%	1.8%	8.8%	31.6%	33.3%	3.5%	12.3%	8.8%	5.3%	22.8%	14.0%	
		回答数	14	4	17	1	5	18	19	2	7	5	3	13	8	55
無回答 (n=12)	満足度	点数	9.2点	8.9点	9.3点	8.9点	8.5点	8.1点	9.2点	8.3点	8.6点	7.0点	6.1点	7.4点	8.1点	
		回答数	11	11	12	11	11	12	11	11	11	11	11	11	11	
	重要度	割合	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	41.7%	
		回答数	1	1	1	2	2	3	3	2	1	1	2	1	5	11

### ◆ 参考 前回の調査結果

(H20 年度実施)

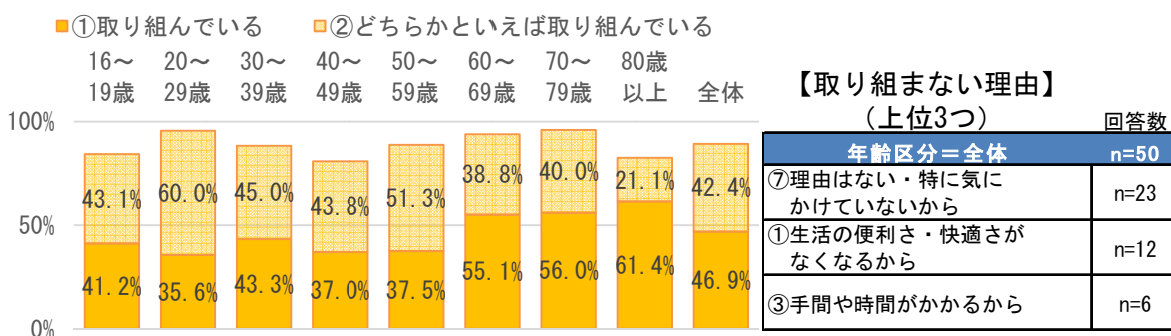


年齢	設問	集計	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	無回答 その他
全体 (n=581)	満足度	点数	7.9点	7.4点	8.3点		5.4点	5.7点	7.7点	7.2点	6.5点	6.8点	6.0点	4.6点	6.3点	
		回答数	560	554	562		770	554	550	554	554	552	553	555	556	
	重要度	割合	27.0%	16.9%	25.1%		5.3%	30.1%	50.9%	7.4%	13.1%	16.5%	9.3%	38.6%	52.5%	
		回答数	157	98	146		31	175	296	43	76	96	54	224	305	42

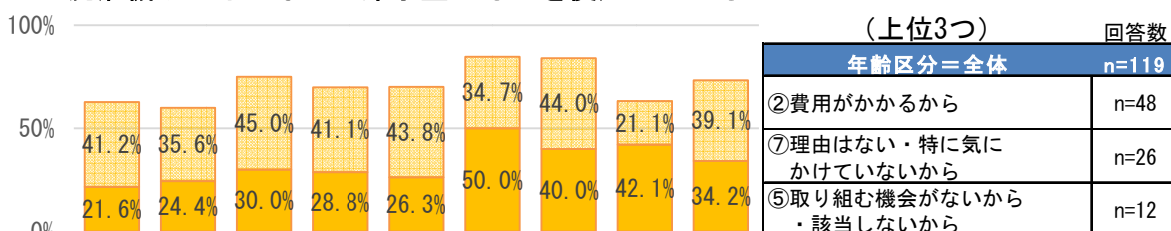
## 問7 行動指針に基づく取組状況 【水・地下水・湧水・河川の保全】

- ◆各年齢の8割以上が、「節水の心がけ」や「油等を排水口に直接流さない」取組みを行っている一方で、「融雪に地下水を使用しない」は約7割に留まっている。
- ◆下水道未接続等の回答者のうち約1割が「ごみや調味料、油等を直接排水口に流している」としており、「どちらかといえば取り組んでいる」を含めると約5割になる。また、下水道未接続等の回答者約6割が、家庭からの排水が流れ込む水路の点検を行っておらず、その約1/4が、取り組まない理由に「必要だと思わない・効果に疑問があるから」「理由はない、特に気にかけていないから」としている。
- ◆用水や水路の清掃活動への参加が、全体で63.7%であるのに対し、29歳以下は約3割と低い。
- ◆「湧水池や河川環境に触れ合うイベントや保全活動」に参加していない理由として、約35%が「取り組む機会がないから・該当しないから」、約16%が「取り組み方がわからないから」となっている。

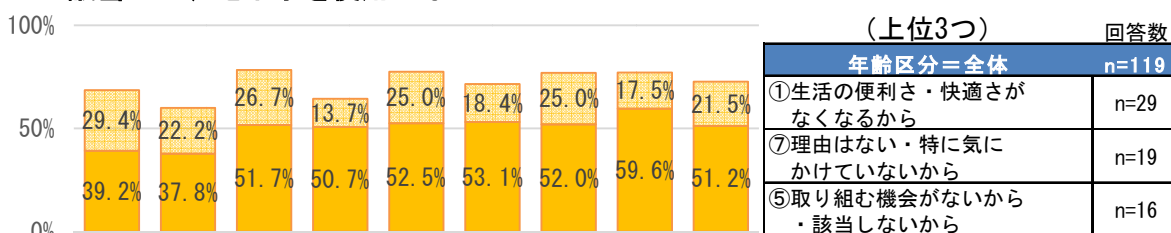
### ◆ 蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、節水を心がけている



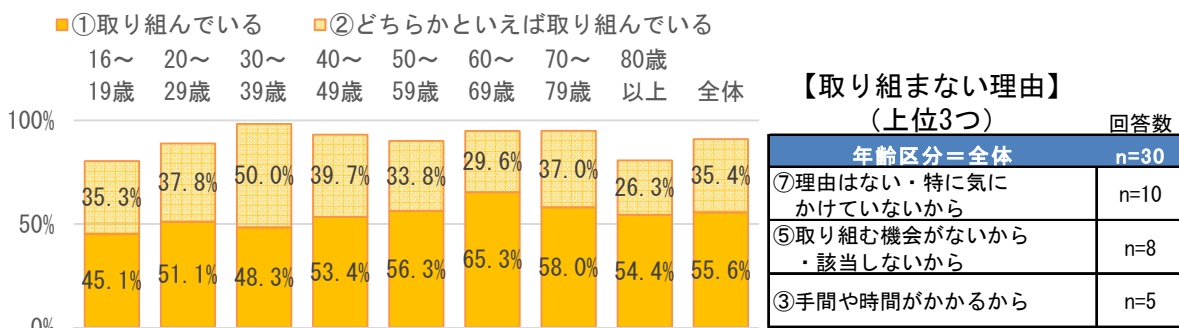
### ◆ 洗濯機やトイレなどは節水型のものを使用している



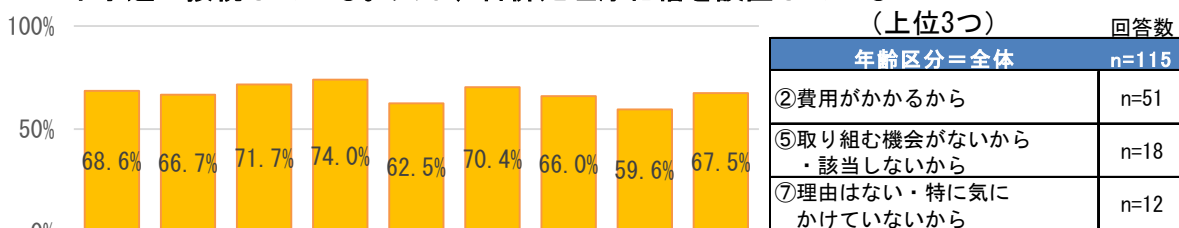
### ◆ 融雪には、地下水を使用しない



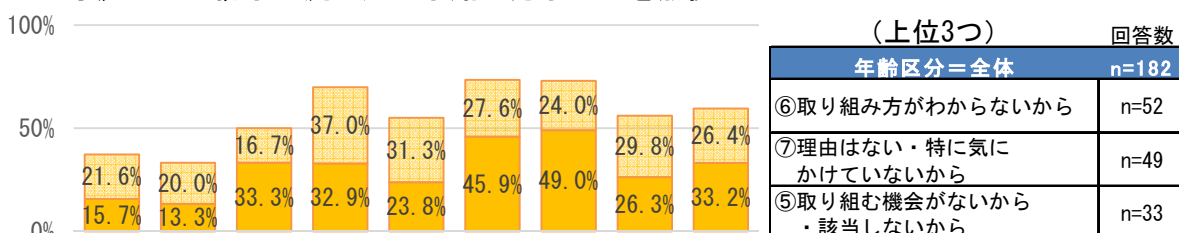
◆ 水切りネットを使用したり拭き取るなどし、ごみや調味料、油などを排水口に直接流さない



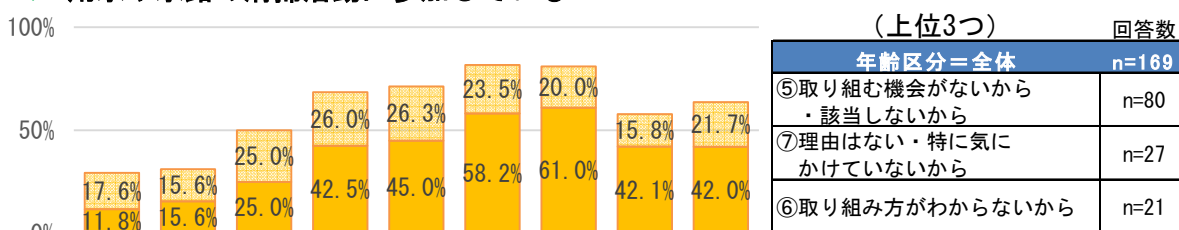
◆ 下水道に接続している。又は、合併処理浄化槽を設置している



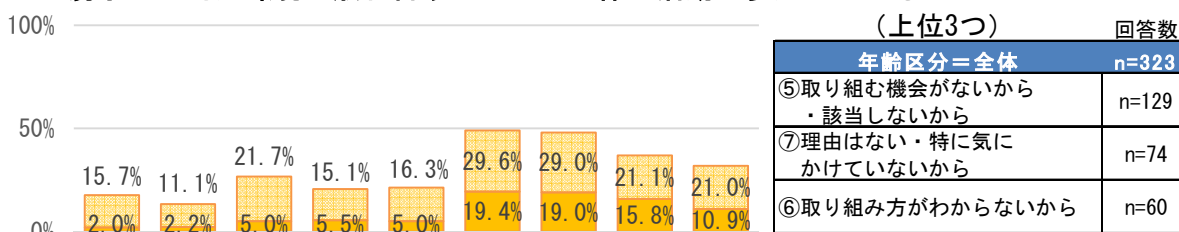
◆ 家庭からの排水が流れ込む水路や汚水マス点を点検している



◆ 用水や水路の清掃活動に参加している



◆ 湧水地や河川環境に触れ合うイベントや保全活動に参加している



蛇口やシャワーをこまめに止めるなど、節水を心がけている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① る 取り 組ん でい	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い 取 り 組 ん で い	⑤ 無 回 答	① 生 活 の 便 利 さ な か ら	② 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 腰 間 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 理 由 は な い か ら	⑧ 理 由 は な い ・ 特 に な い か ら
16～19歳 n=51	割合 41.2% 回答数 21	43.1% 22	15.7% 8	0.0% 0	0.0% 0								6	
20～29歳 n=45	割合 35.6% 回答数 16	60.0% 27	4.4% 2	0.0% 0	0.0% 0	1		1						
30～39歳 n=60	割合 43.3% 回答数 26	45.0% 27	10.0% 6	1.7% 1	0.0% 0	3		2	1					1
40～49歳 n=73	割合 37.0% 回答数 27	43.8% 32	16.4% 12	2.7% 2	0.0% 0	1		1	1			9	2	
50～59歳 n=80	割合 37.5% 回答数 30	51.3% 41	8.8% 7	2.5% 2	0.0% 0	5		1				2	1	
60～69歳 n=98	割合 55.1% 回答数 54	38.8% 38	6.1% 6	0.0% 0	0.0% 0	1		1	1			2		
70～79歳 n=100	割合 56.0% 回答数 56	40.0% 40	4.0% 4	0.0% 0	0.0% 0					1		2		
80歳以上 n=57	割合 61.4% 回答数 35	21.1% 12	7.0% 4	0.0% 0	10.5% 6	1						2		
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	41.7% 5	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1									
全体 n=576	割合 46.9% 回答数 270	42.4% 244	8.3% 48	0.9% 5	1.6% 9	12	1	6	3	1		23	4	

洗濯機やトイレなどは節水型のもを使用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 21.6% 回答数 11	41.2% 21	21.6% 11	11.8% 6	3.9% 2	1	4			3	3	5	1	
20～29歳 n=45	割合 24.4% 回答数 11	35.6% 16	17.8% 8	22.2% 10	0.0% 0		7		1	6	1	2		
30～39歳 n=60	割合 30.0% 回答数 18	45.0% 27	5.0% 3	18.3% 11	1.7% 1		5		1		4	4		
40～49歳 n=73	割合 28.8% 回答数 21	41.1% 30	19.2% 14	11.0% 8	0.0% 0		7	2	1			9	1	
50～59歳 n=80	割合 26.3% 回答数 21	43.8% 35	20.0% 16	8.8% 7	1.3% 1		12	1	2	1	2		2	
60～69歳 n=98	割合 50.0% 回答数 49	34.7% 34	9.2% 9	4.1% 4	2.0% 2	2	5		1		1	2		
70～79歳 n=100	割合 40.0% 回答数 40	44.0% 44	8.0% 8	8.0% 8	0.0% 0		5	2	2	1		1		
80歳以上 n=57	割合 42.1% 回答数 24	21.1% 12	14.0% 8	5.3% 3	17.5% 10		2	2				2		
無回答 n=12	割合 16.7% 回答数 2	50.0% 6	16.7% 2	8.3% 1	8.3% 1		1			1		1		
全体 n=576	割合 34.2% 回答数 197	39.1% 225	13.7% 79	10.1% 58	3.0% 17	3	48	7	8	12	11	26	4	

融雪には、地下水を使用しない

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 39.2% 回答数 20	29.4% 15	11.8% 6	17.6% 9	2.0% 1	1	1			2	2	7	2	
20～29歳 n=45	割合 37.8% 回答数 17	22.2% 10	15.6% 7	24.4% 11	0.0% 0	2	1			6	6	3		
30～39歳 n=60	割合 51.7% 回答数 31	26.7% 16	3.3% 2	16.7% 10	1.7% 1	1		1		1	2	2	3	
40～49歳 n=73	割合 50.7% 回答数 37	13.7% 10	16.4% 12	17.8% 13	1.4% 1	8	3	1	1	2	1	5	3	
50～59歳 n=80	割合 52.5% 回答数 42	25.0% 20	10.0% 8	12.5% 10	0.0% 0	4	3	2		2			3	
60～69歳 n=98	割合 53.1% 回答数 52	18.4% 18	14.3% 14	9.2% 9	5.1% 5	7	2	4	1	2	1		3	
70～79歳 n=100	割合 52.0% 回答数 52	25.0% 25	11.0% 11	9.0% 9	3.0% 3	5	1	1		1		1	4	
80歳以上 n=57	割合 59.6% 回答数 34	17.5% 10	5.3% 3	5.3% 3	12.3% 7	1		1					2	
無回答 n=12	割合 83.3% 回答数 10	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1	8.3% 1							1		
全体 n=576	割合 51.2% 回答数 295	21.5% 124	10.9% 63	13.0% 75	3.3% 19	29	11	10	2	16	12	19	20	

水切りネットを使用したり拭き取るなどし、ごみや調味料、油などを排水口に直接流さない

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		① る 取り 組ん で い	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い ど ち ら か と い	⑤ 無 回 答	① 生 活 の 便 利 さ な か ら	② 使 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 腰 間 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16~19歳 n=51	割合 45.1% 回答数 23	35.3% 18	9.8% 5	9.8% 5	0.0%	1	1	1			6		1	
20~29歳 n=45	割合 51.1% 回答数 23	37.8% 17	4.4% 2	6.7% 3	0.0%			1	1			1	1	
30~39歳 n=60	割合 48.3% 回答数 29	50.0% 30	0.0%	1.7% 1	0.0%			1						
40~49歳 n=73	割合 53.4% 回答数 39	39.7% 29	5.5% 4	1.4% 1	0.0%							1	1	
50~59歳 n=80	割合 56.3% 回答数 45	33.8% 27	7.5% 6	1.3% 1	1.3% 1			1			2	1	1	
60~69歳 n=98	割合 65.3% 回答数 64	29.6% 29	2.0% 2	1.0% 1	2.0% 2							2		
70~79歳 n=100	割合 58.0% 回答数 58	37.0% 37	3.0% 3	1.0% 1	1.0% 1			1					3	
80歳以上 n=57	割合 54.4% 回答数 31	26.3% 15	1.8% 1	1.8% 1	15.8% 9									
無回答 n=12	割合 66.7% 回答数 8	16.7% 2	0.0%	8.3% 1	8.3% 1							1		
全体 n=576	割合 55.6% 回答数 320	35.4% 204	4.0% 23	2.6% 15	2.4% 14	1	1	5	1	8	3	10	1	

下水道に接続している。又は、合併処理浄化槽を設置している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 68.6% 回答数 35			0.0%	25.5% 13	5.9% 3		4	1		2	1	3	2
20~29歳 n=45	割合 66.7% 回答数 30			0.0%	24.4% 11	8.9% 4		2		5	1	3		
30~39歳 n=60	割合 71.7% 回答数 43			0.0%	20.0% 12	8.3% 5			2	2	1	2	3	
40~49歳 n=73	割合 74.0% 回答数 54			0.0%	24.7% 18	2.7% 2		6	1	1	3	1	1	
50~59歳 n=80	割合 62.5% 回答数 50			0.0%	28.8% 23	8.8% 7		14		1	1		4	
60~69歳 n=98	割合 70.4% 回答数 69			0.0%	23.5% 23	6.1% 6		9	1		5	1	2	
70~79歳 n=100	割合 66.0% 回答数 66			0.0%	19.0% 19	16.0% 16		10		1			2	
80歳以上 n=57	割合 59.6% 回答数 34			0.0%	19.3% 11	21.1% 12		5					1	
無回答 n=12	割合 66.7% 回答数 8			0.0%	16.7% 2	16.7% 2		1			1			
全体 n=576	割合 67.5% 回答数 389			0.0%	22.9% 132	9.9% 57		51	5	4	18	7	12	

家庭からの排水が流れ込む水路や汚水マスを点検している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 15.7% 回答数 8	21.6% 11	11.8% 6	47.1% 24	3.9% 2		1	3		7	7	10	2	
20~29歳 n=45	割合 13.3% 回答数 6	20.0% 9	20.0% 9	42.2% 19	4.4% 2			3	1	6	11	6	1	
30~39歳 n=60	割合 33.3% 回答数 20	16.7% 10	11.7% 7	38.3% 23	0.0%			1	2	5	9	8	4	
40~49歳 n=73	割合 32.9% 回答数 24	37.0% 27	11.0% 8	19.2% 14	0.0%			3	1	3	7	5	3	
50~59歳 n=80	割合 23.8% 回答数 19	31.3% 25	27.5% 22	16.3% 13	1.3% 1			2	6	3	9	8	3	
60~69歳 n=98	割合 45.9% 回答数 45	27.6% 27	9.2% 9	13.3% 13	4.1% 4			1	1	3	6	5	2	
70~79歳 n=100	割合 49.0% 回答数 49	24.0% 24	15.0% 15	7.0% 7	5.0% 5			3	1	5	1	4	2	
80歳以上 n=57	割合 26.3% 回答数 15	29.8% 17	15.8% 9	7.0% 4	21.1% 12			1	1	1	1	1		
無回答 n=12	割合 41.7% 回答数 5	16.7% 2	0.0%	25.0% 3	16.7% 2						1	2		
全体 n=576	割合 33.2% 回答数 191	26.4% 152	14.8% 85	20.8% 120	4.9% 28		7	19	5	33	52	49	17	

用水や水路の清掃活動に参加している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		① る 取り 組んで いる	② ど ち ら か と い で る	③ ど ち ら か と い で ない	④ ど ち ら か と い で ない	⑤ 無 回 答	① 快 速 さ が な く な る か ら	② 生 活 の 便 利 さ な ら ば 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 疑 い が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16～19歳 n=51	割合 回答数	11.8% 6	17.6% 9	9.8% 5	60.8% 31									
20～29歳 n=45	割合 回答数	15.6% 7	15.6% 7	17.8% 8	48.9% 22		1	3			16	2	10	3
30～39歳 n=60	割合 回答数	25.0% 15	25.0% 15	8.3% 5	41.7% 25			3			13	4	7	2
40～49歳 n=73	割合 回答数	42.5% 31	26.0% 19	11.0% 8	20.5% 15			2	1	13	5	2	5	
50～59歳 n=80	割合 回答数	45.0% 36	26.3% 21	11.3% 9	16.3% 13			1			14	1	3	4
60～69歳 n=98	割合 回答数	58.2% 57	23.5% 23	7.1% 7	8.2% 8			1			8	5	2	4
70～79歳 n=100	割合 回答数	61.0% 61	20.0% 20	9.0% 9	6.0% 6						7	3	1	1
80歳以上 n=57	割合 回答数	42.1% 24	15.8% 9	10.5% 6	15.8% 9									6
無回答 n=12	割合 回答数	41.7% 5	16.7% 2	0.0% 0	16.7% 2						3			
全体 n=576	割合 回答数	42.0% 242	21.7% 125	9.9% 57	22.7% 131			1	1	80	21	27	28	

湧水地や河川環境に触れ合うイベントや保全活動に参加している

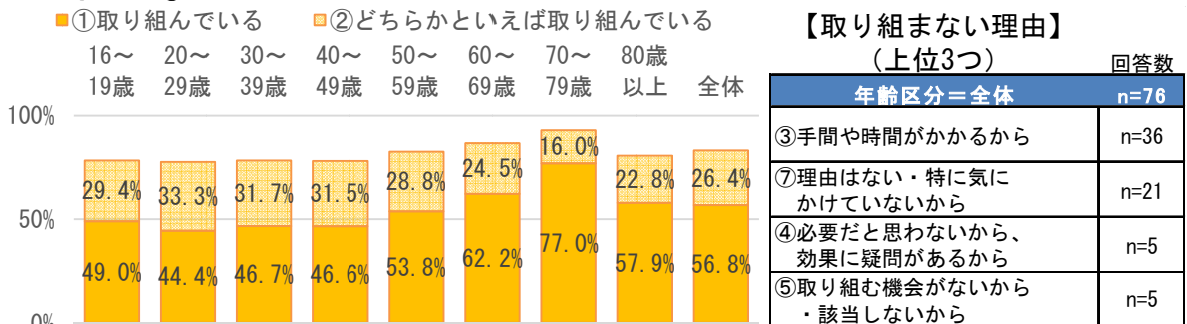
年齢	集計	取組状況					取組まない理由								
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
16～19歳 n=51	割合 回答数	2.0% 1	15.7% 8	19.6% 10	62.7% 32	0.0% 0									
20～29歳 n=45	割合 回答数	2.2% 1	11.1% 5	20.0% 9	66.7% 30	0.0% 0		1	4	1	17	4	7	5	
30～39歳 n=60	割合 回答数	5.0% 3	21.7% 13	28.3% 17	45.0% 27	0.0% 0			3		11	5	16	3	
40～49歳 n=73	割合 回答数	5.5% 4	15.1% 11	30.1% 22	49.3% 36	0.0% 0			4	1	15	10	5	3	
50～59歳 n=80	割合 回答数	5.0% 4	16.3% 13	35.0% 28	42.5% 34	1.3% 1			4		20	15	12	3	
60～69歳 n=98	割合 回答数	19.4% 19	29.6% 29	21.4% 21	24.5% 24	5.1% 5			1	2	25	12	11	6	
70～79歳 n=100	割合 回答数	19.0% 19	29.0% 29	28.0% 28	20.0% 20	4.0% 4					19	5	13	3	
80歳以上 n=57	割合 回答数	15.8% 9	21.1% 12	22.8% 13	26.3% 15	14.0% 8			2		16	8	7	5	
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	8.3% 1	33.3% 4	25.0% 3			1		3	1	2	8	
全体 n=576	割合 回答数	10.9% 63	21.0% 121	25.9% 149	38.5% 222	3.6% 21			1	19	4	129	60	74	36



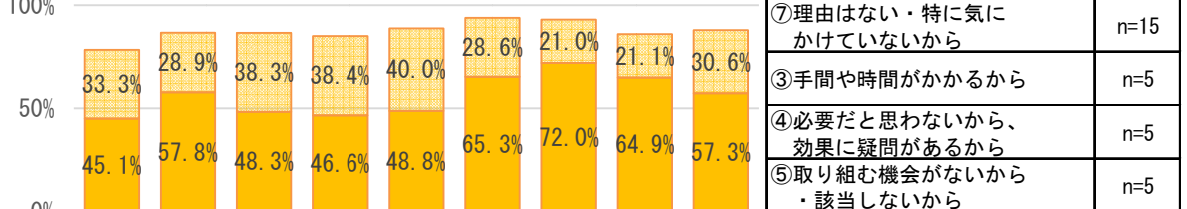
## 問7 行動指針に基づく取組状況 【ごみ減量・循環型社会構築】

- ◆「牛乳パックやトレイのリサイクル」「マイバッグの使用」「詰め替え商品等の購入」「食品ロスの発生抑制」「雑がみ等の分別」は、回答者の80～90%が取り組んでおり、十分普及している一方で、「エコマーク製品等の購入」「不用品の知人等への譲渡」「資源回収活動への参加」は50～60%の取組状況となっている。
- ◆これらに取り組まない理由として、一般的に「理由はない・特に気にかけていないから」が挙げられており、「エコマーク製品等の購入」に取り組まない理由の約70%を占めている。環境教育も含めた普及啓発が必要と思われる。

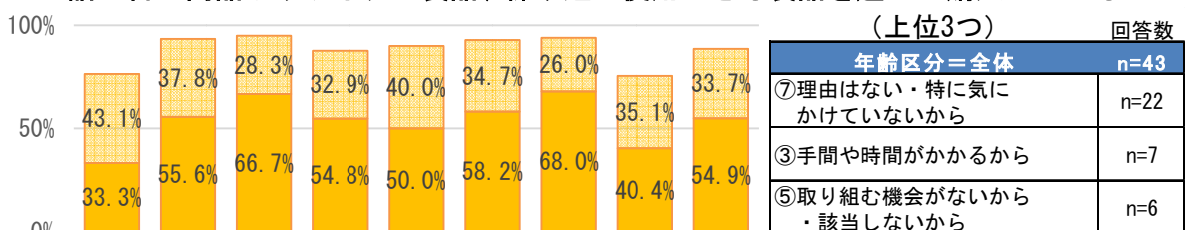
### ◆ ごみは正しく分別し、牛乳パックやトレイなどはスーパーなどのリサイクルに回している



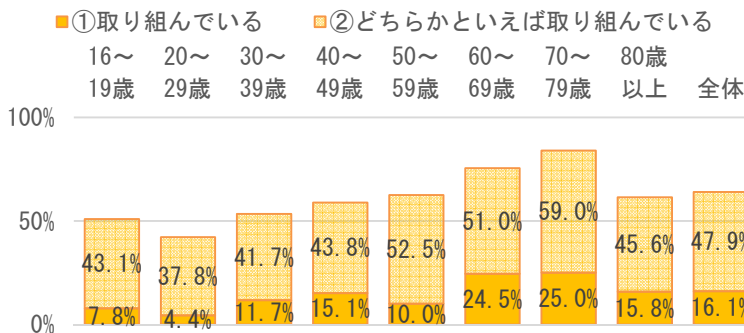
### ◆ マイバッグ等を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている



### ◆ 詰め替え商品やリサイクル製品、繰り返し使用できる製品を選んで購入している



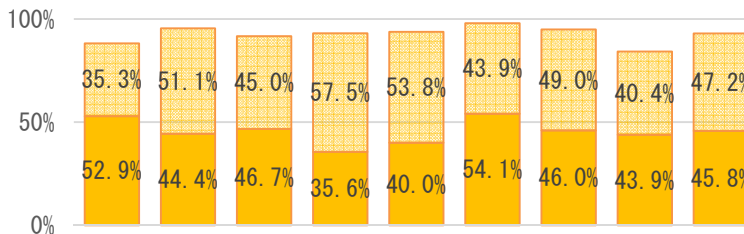
◆ エコマークなど環境に配慮した製品を選んでいる



【組み立てない理由】  
(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=113
③手間や時間がかかるから	n=12
④必要だと思わないから、効果に疑問があるから	n=8
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=8

◆ 家庭では食品の買いすぎや作りすぎをしない、外食では食べ残さないことで、食品ロス(※)の発生を抑制している

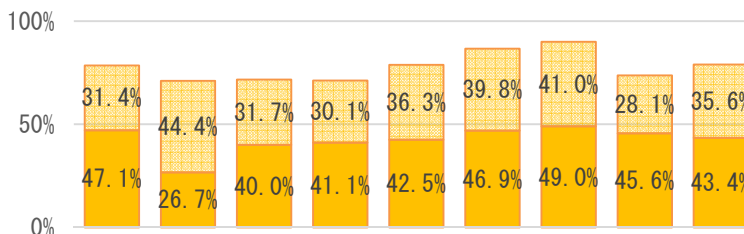


(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=16
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=4
③手間や時間がかかるから	n=3

※食品ロス：本来食べられるのに捨てられてしまう食品

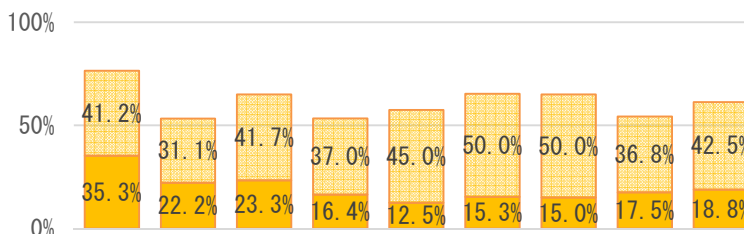
◆ お菓子の空箱やチラシ、メモ用紙などの雑がみは分別して、燃やせるごみには出さないようにしている



(上位3つ)

理由	回答数
③手間や時間がかかるから	n=36
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=31
④必要だと思わないから、効果に疑問があるから	n=7

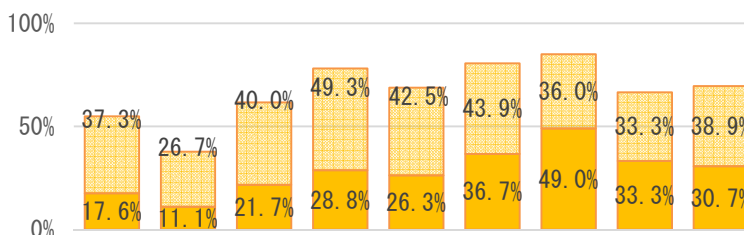
◆ 不用になったものは安易に廃棄せず、知人、友人などに譲るようにしている



(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=52
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=40
③手間や時間がかかるから	n=34

◆ 資源回収活動などに積極的に参加している



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=49
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=35
⑥取り組み方がわからないから	n=22

ごみは正しく分別し、牛乳パックやトレイなどはスーパーなどのリサイクルに回している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由								
		① る取り 組んで い	② では らか とい	③ では らか とい	④ ない 組んで い	⑤ 無 回 答	① 生活 の便 利さ な か ら	② 費 用 が か か る か	③ 手 間 や 時 間 が か か る か	④ 要 求 が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い ・ 特 に な い か ら	⑨ そ の 他
16～19歳 n=51	割合 49.0% 回答数 25	29.4%	11.8%	9.8%	0.0%										
20～29歳 n=45	割合 44.4% 回答数 20	33.3%	2.2%	20.0%	0.0%		4			3	1	2	1		
30～39歳 n=60	割合 46.7% 回答数 28	31.7%	6.7%	15.0%	0.0%			5	1	1		3			
40～49歳 n=73	割合 46.6% 回答数 34	31.5%	11.0%	11.0%	0.0%			8	1			4			
50～59歳 n=80	割合 53.8% 回答数 43	28.8%	12.5%	5.0%	0.0%			6		1		5	4		
60～69歳 n=98	割合 62.2% 回答数 61	24.5%	7.1%	5.1%	1.0%			6	2			3	1		
70～79歳 n=100	割合 77.0% 回答数 77	16.0%	1.0%	2.0%	4.0%		1					1			
80歳以上 n=57	割合 57.9% 回答数 33	22.8%	8.8%	0.0%	10.5%										
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%										
全体 n=576	割合 56.8% 回答数 327	26.4%	7.3%	7.3%	2.3%		1	36	5	5	2	21	6		

マイバッグ等を持参し、レジ袋を受け取らないようにしている

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 45.1% 回答数 23	33.3%	13.7%	7.8%	0.0%									
20～29歳 n=45	割合 57.8% 回答数 26	28.9%	4.4%	8.9%	0.0%		2		3	1	2		2	
30～39歳 n=60	割合 48.3% 回答数 29	38.3%	10.0%	3.3%	0.0%									
40～49歳 n=73	割合 46.6% 回答数 34	38.4%	9.6%	5.5%	0.0%									
50～59歳 n=80	割合 48.8% 回答数 39	40.0%	8.8%	2.5%	0.0%									
60～69歳 n=98	割合 65.3% 回答数 64	28.6%	3.1%	3.1%	0.0%									
70～79歳 n=100	割合 72.0% 回答数 72	21.0%	4.0%	1.0%	2.0%									
80歳以上 n=57	割合 64.9% 回答数 37	21.1%	0.0%	3.5%	10.5%									
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%									
全体 n=576	割合 57.3% 回答数 330	30.6%	6.4%	4.2%	1.6%		17		5	5	5	15	5	

詰め替え商品やリサイクル製品、繰り返し使用できる製品を選んで購入している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 33.3% 回答数 17	43.1%	9.8%	13.7%	0.0%									
20～29歳 n=45	割合 55.6% 回答数 25	37.8%	4.4%	2.2%	0.0%									
30～39歳 n=60	割合 66.7% 回答数 40	28.3%	1.7%	1.7%	1.7%									
40～49歳 n=73	割合 54.8% 回答数 40	32.9%	8.2%	4.1%	0.0%									
50～59歳 n=80	割合 50.0% 回答数 40	40.0%	6.3%	3.8%	0.0%									
60～69歳 n=98	割合 58.2% 回答数 57	34.7%	6.1%	1.0%	0.0%									
70～79歳 n=100	割合 68.0% 回答数 68	26.0%	4.0%	0.0%	2.0%									
80歳以上 n=57	割合 40.4% 回答数 23	35.1%	5.3%	3.5%	15.8%									
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	16.7%	25.0%	0.0%	8.3%									
全体 n=576	割合 54.9% 回答数 316	33.7%	6.1%	3.1%	2.3%		1	1	7	1	6	2	22	

エコマークなど環境に配慮した製品を選んでいる

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで いない	⑤ 無回 答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用が かか るか 	③ 手 間や 時間 がか るか ら	④ 履 い が あ る か ら	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い か ら	⑥ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い か ら	⑦ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い か ら	⑧ 理 由 は な い か ら
16~19歳 n=51	割合 7.8% 回答数 4	43.1%	23.5%	23.5%	2.0%			2			4	1	16	
20~29歳 n=45	割合 4.4% 回答数 2	37.8%	33.3%	24.4%	0.0%		1	2	3				18	
30~39歳 n=60	割合 11.7% 回答数 7	41.7%	30.0%	16.7%	0.0%		1	3	2				17	
40~49歳 n=73	割合 15.1% 回答数 11	43.8%	26.0%	15.1%	0.0%		1	1		1		22	2	
50~59歳 n=80	割合 10.0% 回答数 8	52.5%	26.3%	11.3%	0.0%	1	1	4	2			1	17	1
60~69歳 n=98	割合 24.5% 回答数 24	51.0%	20.4%	3.1%	1.0%	2	1					1	11	1
70~79歳 n=100	割合 25.0% 回答数 25	59.0%	9.0%	3.0%	4.0%					1	2		6	
80歳以上 n=57	割合 15.8% 回答数 9	45.6%	17.5%	3.5%	17.5%				1	1	1		3	
無回答 n=12	割合 25.0% 回答数 3	25.0%	16.7%	25.0%	8.3%								3	
全体 n=576	割合 16.1% 回答数 93	47.9%	21.9%	11.1%	3.0%	4	5	12	8	8	7	113	4	

家庭では食品の買すぎや作りすぎをしない、外食では食べ残さないことで、食品ロス発生を抑制している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 52.9% 回答数 27	35.3%	7.8%	3.9%	0.0%			1		2			3	
20~29歳 n=45	割合 44.4% 回答数 20	51.1%	4.4%	0.0%	0.0%								1	
30~39歳 n=60	割合 46.7% 回答数 28	45.0%	5.0%	3.3%	0.0%								4	
40~49歳 n=73	割合 35.6% 回答数 26	57.5%	4.1%	2.7%	0.0%					1		2	1	
50~59歳 n=80	割合 40.0% 回答数 32	53.8%	3.8%	2.5%	0.0%			2				3		
60~69歳 n=98	割合 54.1% 回答数 53	43.9%	2.0%	0.0%	0.0%					1		1		
70~79歳 n=100	割合 46.0% 回答数 46	49.0%	2.0%	1.0%	2.0%				1			2		
80歳以上 n=57	割合 43.9% 回答数 25	40.4%	1.8%	0.0%	14.0%								8	
無回答 n=12	割合 58.3% 回答数 7	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%								1	
全体 n=576	割合 45.8% 回答数 264	47.2%	3.5%	1.6%	1.9%		1	3		4		16	1	

お菓子の空箱やチラシ、メモ用紙などの雑がみは分別して、燃やせるごみには出さないようにしている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 47.1% 回答数 24	31.4%	5.9%	15.7%	0.0%			2		1	1		7	
20~29歳 n=45	割合 26.7% 回答数 12	44.4%	6.7%	20.0%	2.2%			5	1				5	
30~39歳 n=60	割合 40.0% 回答数 24	31.7%	16.7%	11.7%	0.0%		2		6	2		1	3	
40~49歳 n=73	割合 41.1% 回答数 30	30.1%	16.4%	12.3%	0.0%		1		9		1	3	4	2
50~59歳 n=80	割合 42.5% 回答数 34	36.3%	10.0%	10.0%	1.3%				6	2			5	2
60~69歳 n=98	割合 46.9% 回答数 46	39.8%	6.1%	6.1%	1.0%		1		4	2	1	1	1	
70~79歳 n=100	割合 49.0% 回答数 49	41.0%	5.0%	2.0%	3.0%				2				4	
80歳以上 n=57	割合 45.6% 回答数 26	28.1%	8.8%	0.0%	17.5%				1				1	
無回答 n=12	割合 41.7% 回答数 5	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%				1				1	
全体 n=576	割合 43.4% 回答数 250	35.6%	9.4%	8.7%	3.0%		4	36	7	3	6	31	4	

不用になったものは安易に廃棄せず、知人、友人などに譲るようにしている

年齢	集計	取組状況					取組まない理由								
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで いない	⑤ 無回 答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用が かか るか ら	③ 手 間や 時間 がか るか ら	④ 必 要だ と思 わな いか ら・ 効果 がな いか ら	⑤ 取 り組 む機 会が な い	⑥ 取 り組 み方 がわ か らな い	⑦ 理 由は ない か ら	⑧ 理 由は ない か ら・ 特 定	⑨ そ の 他
16～19歳 n=51	割合 回答数	35.3% 18	41.2% 21	9.8% 5	13.7% 7	0.0%									
20～29歳 n=45	割合 回答数	22.2% 10	31.1% 14	24.4% 11	22.2% 10	0.0%	1	1	4	1	1	1	10	1	
30～39歳 n=60	割合 回答数	23.3% 14	41.7% 25	18.3% 11	16.7% 10	0.0%			6		3	3	6	1	
40～49歳 n=73	割合 回答数	16.4% 12	37.0% 27	31.5% 23	15.1% 11	0.0%			9	3	7	1	6	4	
50～59歳 n=80	割合 回答数	12.5% 10	45.0% 36	27.5% 22	15.0% 12	0.0%			5	1	10		11	3	
60～69歳 n=98	割合 回答数	15.3% 15	50.0% 49	23.5% 23	11.2% 11	0.0%			7	2	6	2	5	3	
70～79歳 n=100	割合 回答数	15.0% 15	50.0% 50	22.0% 22	9.0% 9	4.0% 4			1	1	7		4	5	
80歳以上 n=57	割合 回答数	17.5% 10	36.8% 21	21.1% 12	5.3% 3	19.3% 11					3		2	2	
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	16.7% 2	25.0% 3	16.7% 2	8.3% 1				1	1	1	1		
全体 n=576	割合 回答数	18.8% 108	42.5% 245	22.9% 132	13.0% 75	2.8% 16	1	2	34	9	40	8	52	19	

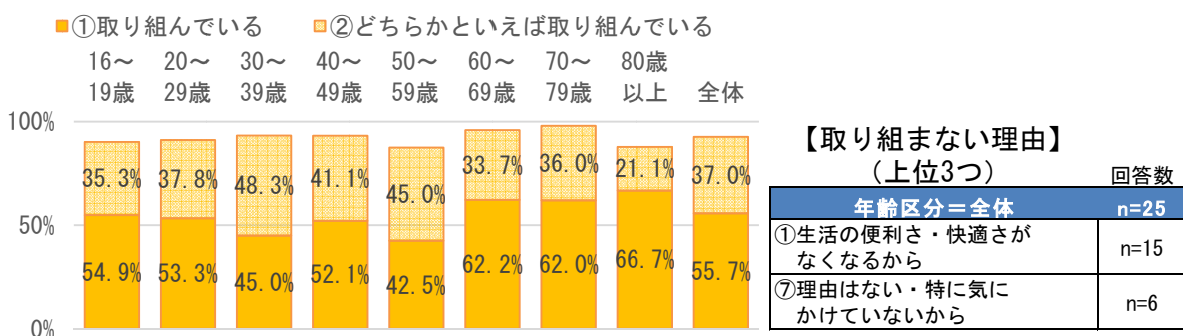
資源回収活動などに積極的に参加している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 回答数	17.6% 9	37.3% 19	27.5% 14	17.6% 9	0.0%			2		8	1	7	2
20～29歳 n=45	割合 回答数	11.1% 5	26.7% 12	15.6% 7	46.7% 21	0.0%			3	1	9	2	9	2
30～39歳 n=60	割合 回答数	21.7% 13	40.0% 24	11.7% 7	26.7% 16	0.0%			1	1	10	4	2	
40～49歳 n=73	割合 回答数	28.8% 21	49.3% 36	11.0% 8	11.0% 8	0.0%			2		6	5	1	1
50～59歳 n=80	割合 回答数	26.3% 21	42.5% 34	17.5% 14	13.8% 11	0.0%			3		8	3	5	3
60～69歳 n=98	割合 回答数	36.7% 36	43.9% 43	14.3% 14	5.1% 5	0.0%					6	3	4	
70～79歳 n=100	割合 回答数	49.0% 49	36.0% 36	4.0% 4	7.0% 7	4.0% 4						2	4	
80歳以上 n=57	割合 回答数	33.3% 19	33.3% 19	8.8% 5	8.8% 5	15.8% 9					1	1	1	1
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	8.3% 1	16.7% 2	16.7% 2	25.0% 3					1	1	2	
全体 n=576	割合 回答数	30.7% 177	38.9% 224	13.0% 75	14.6% 84	2.8% 16			11	2	49	22	35	9

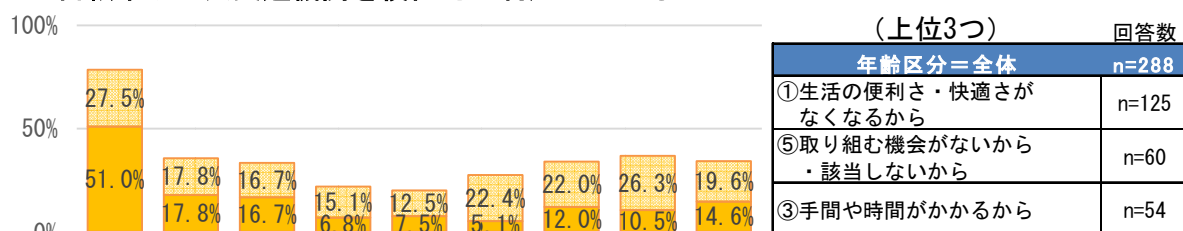
## 問7 行動指針に基づく取組状況 【地球温暖化防止・省エネルギーの推進】

- ◆ 「節電の心がけ」は90%以上、「エコドライブの実践」「環境性の良い商品選択」は約80%が取り組んでおり、十分に普及しているといえる。
- ◆ 「自転車や公共交通機関の積極的利用」は、全体で約35%にとどまっており、取り組まない理由の約40%が「生活の便利さ・快適さがなくなるから」となっており車に依存した生活が反映された結果となっている。一方で、「ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している」回答者は34.2%と低水準にとどまっている。
- ◆ 「太陽光発電等の導入・活用」している回答者は8%、「高断熱化設備や省エネ設備の設置」については44.9%となっており、「費用がかかる」ことから取組状況は低水準となっている。

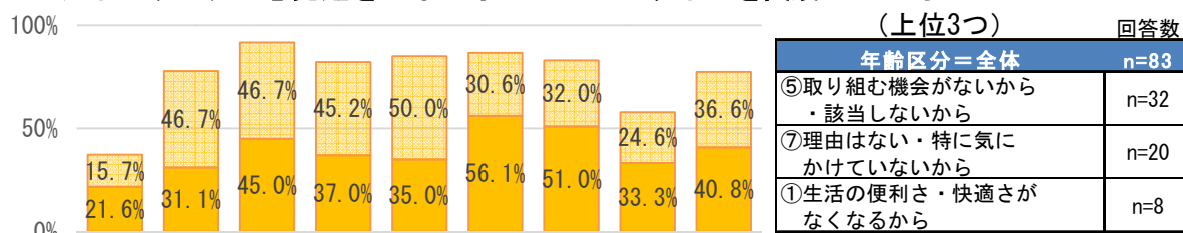
### ◆ 冷暖房の適温設定や不必要な照明の消灯などにより、節電を心がけている



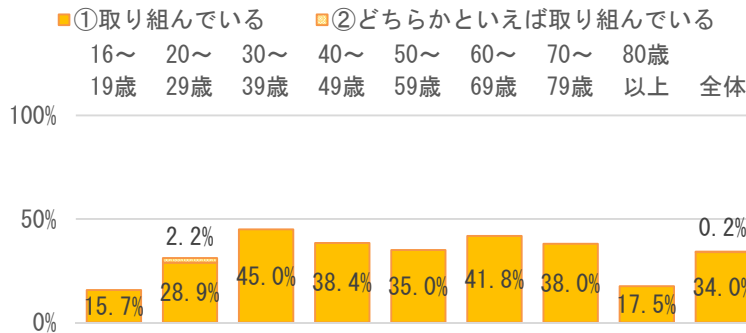
### ◆ 自転車や公共交通機関を積極的に利用している



### ◆ アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している



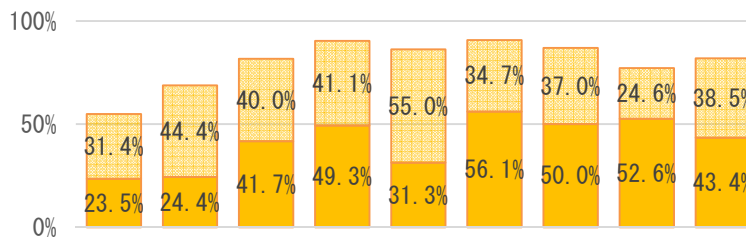
◆ ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している



【取り組まない理由】  
(上位3つ)

年齢区分=全体		回答数
②費用がかかるから		n=159
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから		n=51
⑦理由はない・特に気に かけていないから		n=23

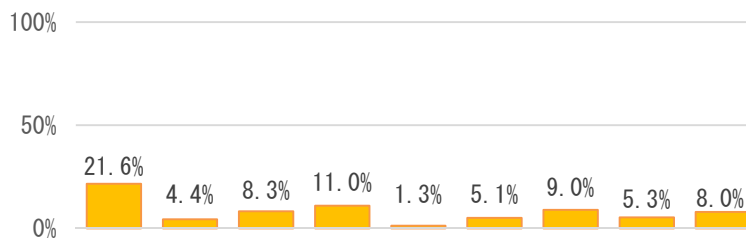
◆ 家電等を購入する際には、省エネ型などの環境性能の良い商品を選ぶ



(上位3つ)

年齢区分=全体		回答数
②費用がかかるから		n=20
⑦理由はない・特に気に かけていないから		n=20
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから		n=18

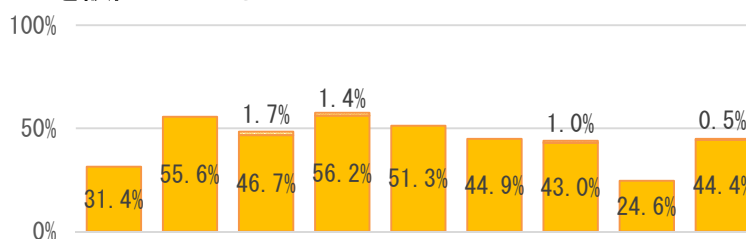
◆ 太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している



(上位3つ)

年齢区分=全体		回答数
②費用がかかるから		n=243
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから		n=69
④必要だと思わないから、 効果に疑問があるから		n=39

◆ 住宅設備に、高断熱化設備（二重サッシなど）や省エネ設備（エコキュートなど）を設置している



(上位3つ)

年齢区分=全体		回答数
②費用がかかるから		n=145
⑤取り組む機会がないから ・該当しないから		n=45
⑦理由はない・特に気に かけていないから		n=17

冷暖房の適温設定や unnecessaryな照明の消灯などにより、節電を心がけている

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		① 取る 組んで いる	② どちら かとい う	③ どちら かとい う	④ 取る 組んで いない	⑤ 無 回答	① 生活 の便 利さ がな くな るか ら	② 費 用が かか るか ら	③ 手 間や 時間 がか るか ら	④ 要 求が ある から	⑤ 必 要だ と思 わな い	⑥ 取 り組 む機 会が な い	⑦ 取 り組 み方 がわ か らな い	⑧ 理 由は ない ・特 に
16~19歳 n=51	割合 回答数	54.9% 28	35.3% 18	3.9% 2	3.9% 2	2.0% 1							3	
20~29歳 n=45	割合 回答数	53.3% 24	37.8% 17	2.2% 1	4.4% 2	2.2% 1	3							
30~39歳 n=60	割合 回答数	45.0% 27	48.3% 29	3.3% 2	3.3% 2	0.0% 0	3		1					
40~49歳 n=73	割合 回答数	52.1% 38	41.1% 30	2.7% 2	4.1% 3	0.0% 0	1	1				1	1	1
50~59歳 n=80	割合 回答数	42.5% 34	45.0% 36	8.8% 7	3.8% 3	0.0% 0	6						2	
60~69歳 n=98	割合 回答数	62.2% 61	33.7% 33	2.0% 2	0.0% 2	2.0% 2	1							
70~79歳 n=100	割合 回答数	62.0% 62	36.0% 36	0.0% 0	0.0% 0	2.0% 2								
80歳以上 n=57	割合 回答数	66.7% 38	21.1% 12	1.8% 1	0.0% 1	10.5% 6								
無回答 n=12	割合 回答数	75.0% 9	16.7% 2	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1								
全体 n=576	割合 回答数	55.7% 321	37.0% 213	3.0% 17	2.1% 12	2.3% 13	15	1	1			1	6	1

自転車や公共交通機関を積極的に利用している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	51.0% 26	27.5% 14	11.8% 6	7.8% 4	2.0% 1	2	2	3		1		1	
20~29歳 n=45	割合 回答数	17.8% 8	17.8% 8	15.6% 7	46.7% 21	2.2% 1	15		4	1	5		2	
30~39歳 n=60	割合 回答数	16.7% 10	16.7% 10	25.0% 15	41.7% 25	0.0% 0	19		7	1	5		1	3
40~49歳 n=73	割合 回答数	6.8% 5	15.1% 11	31.5% 23	43.8% 32	2.7% 2	22	1	11		8	2	3	3
50~59歳 n=80	割合 回答数	7.5% 6	12.5% 10	41.3% 33	37.5% 30	1.3% 1	21	3	10	1	12		6	1
60~69歳 n=98	割合 回答数	5.1% 5	22.4% 22	38.8% 38	29.6% 29	4.1% 4	25	1	8	1	15		4	2
70~79歳 n=100	割合 回答数	12.0% 12	22.0% 22	33.0% 33	27.0% 27	6.0% 6	17		7	1	10		4	3
80歳以上 n=57	割合 回答数	10.5% 6	26.3% 15	26.3% 15	17.5% 10	19.3% 11	3		4		3		1	
無回答 n=12	割合 回答数	50.0% 6	8.3% 1	8.3% 1	25.0% 3	8.3% 1	1				1			1
全体 n=576	割合 回答数	14.6% 84	19.6% 113	29.7% 171	31.4% 181	4.7% 27	125	7	54	5	60	2	22	13

アイドリングや急発進をしないなどのエコドライブを実践している

年齢	集計	取組状況					取り組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16~19歳 n=51	割合 回答数	21.6% 11	15.7% 8	7.8% 4	51.0% 26	3.9% 2	1				19	1	6	3
20~29歳 n=45	割合 回答数	31.1% 14	46.7% 21	8.9% 4	11.1% 5	2.2% 1			3	4			1	1
30~39歳 n=60	割合 回答数	45.0% 27	46.7% 28	5.0% 3	3.3% 2	0.0% 0	2				2			
40~49歳 n=73	割合 回答数	37.0% 27	45.2% 33	9.6% 7	8.2% 6	0.0% 0	2			1	1		7	
50~59歳 n=80	割合 回答数	35.0% 28	50.0% 40	2.5% 2	12.5% 10	0.0% 0	1	1		2		1	3	3
60~69歳 n=98	割合 回答数	56.1% 55	30.6% 30	4.1% 4	4.1% 4	5.1% 5	2					1	1	1
70~79歳 n=100	割合 回答数	51.0% 51	32.0% 32	4.0% 4	4.0% 4	9.0% 9					4		1	
80歳以上 n=57	割合 回答数	33.3% 19	24.6% 14	7.0% 4	12.3% 7	22.8% 13					3	1	1	2
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	41.7% 5	0.0% 0	8.3% 1	25.0% 3								1
全体 n=576	割合 回答数	40.8% 235	36.6% 211	5.6% 32	11.3% 65	5.7% 33	8	1	1	6	32	4	20	11



ハイブリッドカーなどの低公害車を使用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由									
		① 取り組んで いる	② どちらか と	③ どちらか と ない	④ 取り組んで ない	⑤ 無回答	① 快適さ が ない	② 生活の 利便さ が ない	③ 費用が かかる	④ 手間や 時間が かかる	⑤ 必要だ と思わ ない	⑥ 取り組 む機 会が ない	⑦ 取り組 み方 が ない	⑧ 理由は ない・ 特 別	⑨ その他	
16～19歳 n=51	割合 15.7% 回答数 8	0.0%	0.0%	78.4%	5.9%				6		1		20		7	4
20～29歳 n=45	割合 28.9% 回答数 13	2.2%	0.0%	62.2%	6.7%			16		1	5			2	4	
30～39歳 n=60	割合 45.0% 回答数 27	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%		1	21			5			2	3	
40～49歳 n=73	割合 38.4% 回答数 28	0.0%	0.0%	61.6%	0.0%			31			5	1			1	6
50～59歳 n=80	割合 35.0% 回答数 28	0.0%	0.0%	62.5%	2.5%			30		1	2	1		5	9	
60～69歳 n=98	割合 41.8% 回答数 41	0.0%	0.0%	48.0%	10.2%			27			2	4		3	5	
70～79歳 n=100	割合 38.0% 回答数 38	0.0%	0.0%	46.0%	16.0%		1	19			2	7		3	6	
80歳以上 n=57	割合 17.5% 回答数 10	0.0%	0.0%	47.4%	35.1%			6			3	5	1		4	
無回答 n=12	割合 25.0% 回答数 3	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%			3				2			1	
全体 n=576	割合 34.0% 回答数 196	0.2%	0.0%	55.9%	9.9%		2	159	1	14	51	2	23	42		

家電等を購入する際には、省エネ型などの環境性能の良い商品を選ぶ

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 23.5% 回答数 12	31.4%	5.9%	37.3%	2.0%			3		1	10		5	3
20～29歳 n=45	割合 24.4% 回答数 11	44.4%	11.1%	17.8%	2.2%			5		4		4		
30～39歳 n=60	割合 41.7% 回答数 25	40.0%	10.0%	8.3%	0.0%		2	3		1	1		2	1
40～49歳 n=73	割合 49.3% 回答数 36	41.1%	4.1%	4.1%	1.4%			3			1		1	
50～59歳 n=80	割合 31.3% 回答数 25	55.0%	8.8%	3.8%	1.3%			1		2			5	1
60～69歳 n=98	割合 56.1% 回答数 55	34.7%	5.1%	0.0%	4.1%			2					2	
70～79歳 n=100	割合 50.0% 回答数 50	37.0%	5.0%	1.0%	7.0%		1				1		1	
80歳以上 n=57	割合 52.6% 回答数 30	24.6%	1.8%	3.5%	17.5%			1						
無回答 n=12	割合 50.0% 回答数 6	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%			1			1			
全体 n=576	割合 43.4% 回答数 250	38.5%	6.3%	7.3%	4.5%		2	20		4	18		20	5

太陽光発電など、再生可能エネルギーを導入・活用している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 21.6% 回答数 11	0.0%	0.0%	76.5%	2.0%			9		1	15	1	8	4
20～29歳 n=45	割合 4.4% 回答数 2	0.0%	0.0%	93.3%	2.2%			19		3	11		5	2
30～39歳 n=60	割合 8.3% 回答数 5	0.0%	0.0%	91.7%	0.0%			33	1	1	7	2	3	5
40～49歳 n=73	割合 11.0% 回答数 8	0.0%	0.0%	87.7%	1.4%			40		4	4	2	5	7
50～59歳 n=80	割合 1.3% 回答数 1	0.0%	0.0%	96.3%	2.5%			44	2	6	12	2	4	2
60～69歳 n=98	割合 5.1% 回答数 5	0.0%	0.0%	89.8%	5.1%			46		12	8	1	8	4
70～79歳 n=100	割合 9.0% 回答数 9	0.0%	0.0%	80.0%	11.0%			33	1	10	8	1	4	5
80歳以上 n=57	割合 5.3% 回答数 3	0.0%	0.0%	64.9%	29.8%			13		2	3	1	1	2
無回答 n=12	割合 16.7% 回答数 2	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%			6			1			
全体 n=576	割合 8.0% 回答数 46	0.0%	0.0%	85.1%	6.9%			243	4	39	69	10	38	31

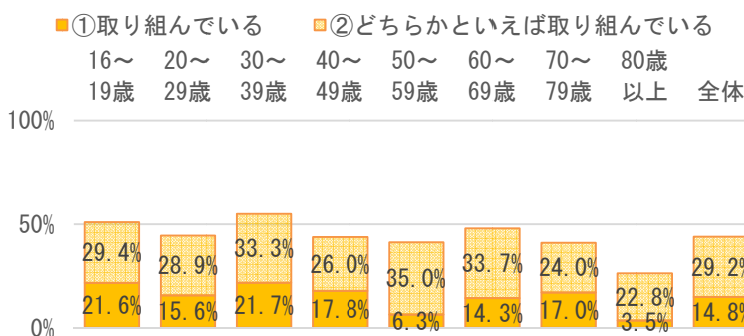
住宅設備に、高断熱化設備(二重サッシなど)や省エネ設備(エコキュートなど)を設置している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由										
		① 取り組んでいる	② どちらかといえる	③ どちらかといえない	④ 取り組んでいない	⑤ 無回答	① 生活の利便さ・快適さから	② 費用がかかるか	③ 手間や時間がかかるから	④ 必要だと思わないから、効果があるから	⑤ 知らないから・該当しない	⑥ 取り組む方がわからないから	⑦ 理由はない・特にかけていない	⑧ その他			
16～19歳	割合 n=51 回答数	31.4% 16	0.0% 0	0.0% 0	64.7% 33	3.9% 2											
20～29歳	割合 n=45 回答数	55.6% 25	0.0% 0	0.0% 0	42.2% 19	2.2% 1		7		1	14		1		5		4
30～39歳	割合 n=60 回答数	46.7% 28	1.7% 1	0.0% 0	51.7% 31	0.0% 0		6	1	2	8				1		1
40～49歳	割合 n=73 回答数	56.2% 41	1.4% 1	0.0% 0	42.5% 31	0.0% 0		16		1	6		2		2		4
50～59歳	割合 n=80 回答数	51.3% 41	0.0% 0	0.0% 0	47.5% 38	1.3% 1		22			2				2		5
60～69歳	割合 n=98 回答数	44.9% 44	0.0% 0	0.0% 0	51.0% 50	4.1% 4		22	2	2	5				1		3
70～79歳	割合 n=100 回答数	44.9% 44	0.0% 0	0.0% 0	51.0% 50	4.1% 4		31		2	4			2	4		1
80歳以上	割合 n=57 回答数	43.0% 43	1.0% 1	0.0% 0	48.0% 48	8.0% 8		24	1	2	6				2		3
無回答	割合 n=12 回答数	24.6% 14	0.0% 0	0.0% 0	49.1% 28	26.3% 15		11		1							3
全体	割合 n=576 回答数	33.3% 4	0.0% 0	0.0% 0	50.0% 6	16.7% 2		6									
		44.4% 256	0.5% 3	0.0% 0	49.3% 284	5.7% 33		145	4	11	45		5	17			24

## 問7 行動指針に基づく取組状況 【自然とのふれあい・自然保護・その他】

- ◆「大野の自然とふれあい、楽しんでいる」と回答した割合は、全体で約45%となっており、取り組まない理由の約55%が「取り組む機会がないから・該当しないから」となっている。大野の豊かな自然が市民の間で積極的に利用されていない状況にあると推察される。
- ◆「晴れた夜に、よく星空を見上げる」と回答した割合は、全体で70%を超えており、市民の間に大野＝星空が定着していることが伺える。
- ◆「農地や所有林の保全」と「ペットの適正管理」は取組状況が低水準だが、分母から「無回答」と「該当しないから」を除くとそれぞれ69.8%、76.3%が取り組んでいることになる。
- ◆環境問題等への関心は高い（問4～6参照）が、「環境関係情報の収集」は積極的には行われていない。

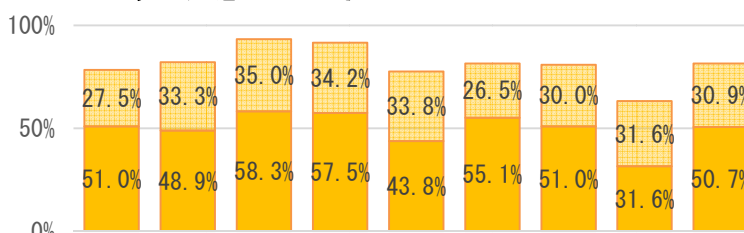
### ◆ 川釣りや自然の中でのレクリエーションなど、大野の自然とふれあい、楽しんでいる



#### 【取り組まない理由】 (上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=124
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=52
③手間や時間がかかるから	n=15

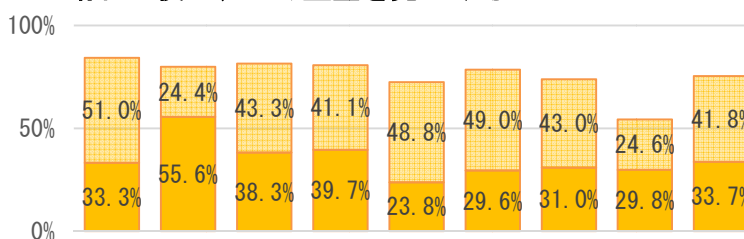
### ◆ 川や山を訪れた際は、不要な採取や餌付け、生き物のすみかを荒らす行為はしないように注意している



#### (上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=42
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=12
③手間や時間がかかるから	n=1
⑥取り組み方がわからないから	n=1

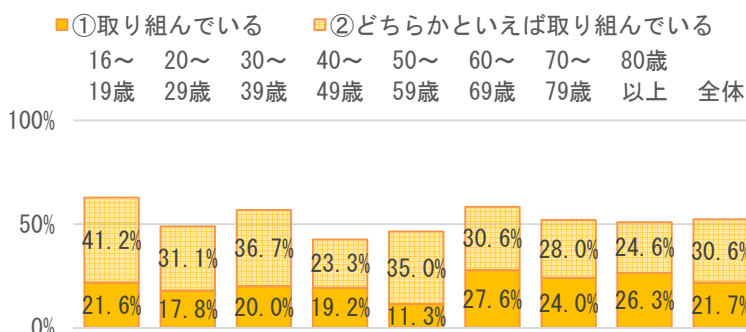
### ◆ 晴れた夜は、よく星空を見上げる



#### (上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=59
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=18
③手間や時間がかかるから	n=3

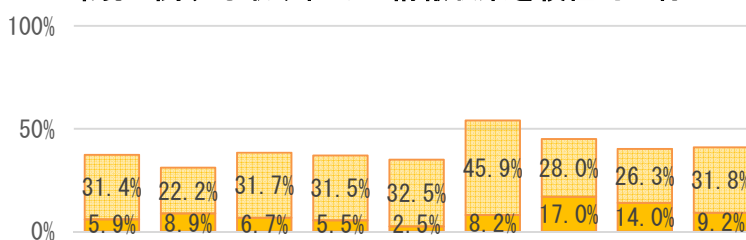
◆ 農地や所有林の保全に心がけている



【取り組まない理由】  
(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=115
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=49
⑥取り組み方がわからないから	n=25

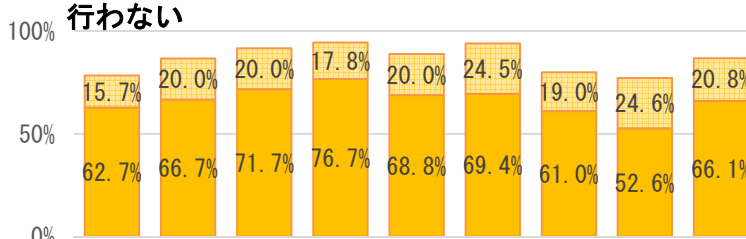
◆ 環境に関する取り組みの情報収集を積極的に行っている



(上位3つ)

理由	回答数
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=96
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=82
⑥取り組み方がわからないから	n=45

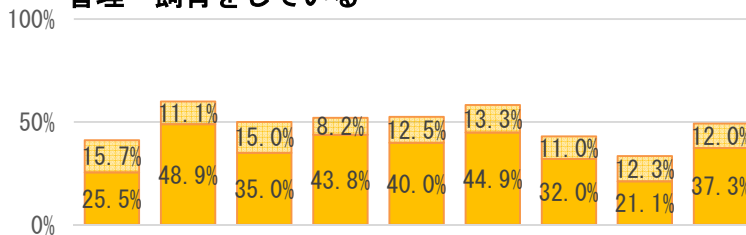
◆ 家庭での野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=15
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=11
②費用がかかるから	n=3
③手間や時間がかかるから	n=3

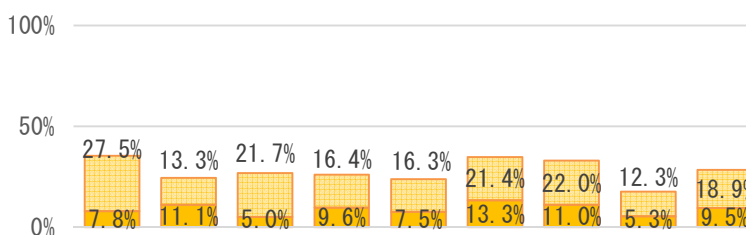
◆ ペットが野生化し、生態系に影響を与えることのないよう管理・飼育をしている



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=155
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=14
(参考) ⑧その他	n=50

◆ 文化財や伝統芸能を守る活動に参加している



(上位3つ)

理由	回答数
⑤取り組む機会がないから・該当しないから	n=157
⑦理由はない・特に気にかけていないから	n=85
⑥取り組み方がわからないから	n=42

◆ その他（自由記述を要約）

30～39歳 姉妹都市や都会の子供たちとともに自然と触れ合うイベント等/

70～79歳 家庭菜園少しの場所で全面楽しんでいる/

80歳以上 県外へ車を使い行動するのを控え、市内の自然に親しむように心がけている/

川釣りや自然の中でのレクリエーションなど、大野の自然とふれあい、楽しんでいる

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		① 取る取組んでいる	② どちらかとい	③ どちらかとい	④ 取る取組んでいる	⑤ 無回答	① 生活の利便さから	② 費用がかかるか	③ 手間や時間がかかるから	④ 暇間があるから	⑤ 必要だと思わないから	⑥ 取り組む機会がないから	⑦ 取り組む方がわからないから	⑧ 理由はない・特にないから
16～19歳 n=51	割合 回答数	21.6% 11	29.4% 15	13.7% 7	31.4% 16	3.9% 2			5		10	2	5	1
20～29歳 n=45	割合 回答数	15.6% 7	28.9% 13	20.0% 9	33.3% 15	2.2% 1		2		10	2	5	3	
30～39歳 n=60	割合 回答数	21.7% 13	33.3% 20	21.7% 13	23.3% 14	0.0% 0			4	11		8	2	
40～49歳 n=73	割合 回答数	17.8% 13	26.0% 19	26.0% 19	30.1% 22	0.0% 0		1	2	21		5	4	
50～59歳 n=80	割合 回答数	6.3% 5	35.0% 28	23.8% 19	35.0% 28	0.0% 0		3	1	21	3	13	2	
60～69歳 n=98	割合 回答数	14.3% 14	33.7% 33	27.6% 27	19.4% 19	5.1% 5		2	2	21		8	1	
70～79歳 n=100	割合 回答数	17.0% 17	24.0% 24	23.0% 23	28.0% 28	8.0% 8		2	2	18	1	4	4	
80歳以上 n=57	割合 回答数	3.5% 2	22.8% 13	17.5% 10	33.3% 19	22.8% 13				10		3		
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	25.0% 3	8.3% 1	33.3% 4	8.3% 1				1	2	1	1	
全体 n=576	割合 回答数	14.8% 85	29.2% 168	22.2% 128	28.6% 165	5.2% 30			15	12	124	9	52	17

川や山を訪れた際は、不要な採取や餌付け、生き物のすみかを荒らす行為はしないように注意している

年齢	集計	取組状況					取組まない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 回答数	51.0% 26	27.5% 14	3.9% 2	15.7% 8	2.0% 1					6		2	2
20～29歳 n=45	割合 回答数	48.9% 22	33.3% 15	2.2% 1	13.3% 6	2.2% 1				4		2	1	
30～39歳 n=60	割合 回答数	58.3% 35	35.0% 21	3.3% 2	3.3% 2	0.0% 0					1	1	1	
40～49歳 n=73	割合 回答数	57.5% 42	34.2% 25	1.4% 1	6.8% 5	0.0% 0				3		1	1	
50～59歳 n=80	割合 回答数	43.8% 35	33.8% 27	10.0% 8	12.5% 10	0.0% 0				10		2	1	
60～69歳 n=98	割合 回答数	55.1% 54	26.5% 26	4.1% 4	9.2% 9	5.1% 5		1		8		2		
70～79歳 n=100	割合 回答数	51.0% 51	30.0% 30	4.0% 4	7.0% 7	8.0% 8				7			2	
80歳以上 n=57	割合 回答数	31.6% 18	31.6% 18	5.3% 3	14.0% 8	17.5% 10				4		2		
無回答 n=12	割合 回答数	75.0% 9	16.7% 2	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1								
全体 n=576	割合 回答数	50.7% 292	30.9% 178	4.3% 25	9.5% 55	4.5% 26			1	42	1	12	8	

晴れた夜は、よく星空を見上げる

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		① る 取り 組ん で い	② で え ば ど ち ら か と い	③ で え ば ど ち ら か と い	④ な い 取 り 組 ん で い	⑤ 無 回 答	① 快 楽 さ が な く な ら な い	② 生 活 の 便 利 さ が な い	③ 費 用 が か か る か	④ 手 間 や 時 間 が か か る か	⑤ 必 要 だ と 思 わ な い	⑥ 離 れ が あ る か ら	⑦ 取 り 組 む 機 会 が あ ら な い	⑧ 取 り 組 み 方 が わ か ら な い	⑨ 理 由 は な い	⑩ そ の 他
16~19歳 n=51	割合 回答数	33.3% 17	51.0% 26	5.9% 3	7.8% 4	2.0% 1										
20~29歳 n=45	割合 回答数	55.6% 25	24.4% 11	4.4% 2	11.1% 5	4.4% 2										
30~39歳 n=60	割合 回答数	38.3% 23	43.3% 26	15.0% 9	3.3% 2	0.0% 0										
40~49歳 n=73	割合 回答数	39.7% 29	41.1% 30	13.7% 10	5.5% 4	0.0% 0										
50~59歳 n=80	割合 回答数	23.8% 19	48.8% 39	18.8% 15	8.8% 7	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	29.6% 29	49.0% 48	13.3% 13	6.1% 6	2.0% 2										
70~79歳 n=100	割合 回答数	31.0% 31	43.0% 43	9.0% 9	10.0% 10	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	29.8% 17	24.6% 14	21.1% 12	8.8% 5	15.8% 9										
無回答 n=12	割合 回答数	33.3% 4	33.3% 4	0.0% 0	25.0% 3	8.3% 1										
全体 n=576	割合 回答数	33.7% 194	41.8% 241	12.7% 73	8.0% 46	3.8% 22										

農地や所有林の保全に心がけている

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
16~19歳 n=51	割合 回答数	21.6% 11	41.2% 21	11.8% 6	23.5% 12	2.0% 1										
20~29歳 n=45	割合 回答数	17.8% 8	31.1% 14	15.6% 7	33.3% 15	2.2% 1										
30~39歳 n=60	割合 回答数	20.0% 12	36.7% 22	13.3% 8	28.3% 17	1.7% 1										
40~49歳 n=73	割合 回答数	19.2% 14	23.3% 17	19.2% 14	37.0% 27	1.4% 1										
50~59歳 n=80	割合 回答数	11.3% 9	35.0% 28	18.8% 15	35.0% 28	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	27.6% 27	30.6% 30	11.2% 11	24.5% 24	6.1% 6										
70~79歳 n=100	割合 回答数	24.0% 24	28.0% 28	13.0% 13	28.0% 28	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	26.3% 15	24.6% 14	7.0% 4	24.6% 14	17.5% 10										
無回答 n=12	割合 回答数	41.7% 5	16.7% 2	0.0% 0	16.7% 2	25.0% 3										
全体 n=576	割合 回答数	21.7% 125	30.6% 176	13.5% 78	29.0% 167	5.2% 30										

環境に関する取り組みの情報収集を積極的に行っている

年齢	集計	取組状況					取組まない理由									
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
16~19歳 n=51	割合 回答数	5.9% 3	31.4% 16	29.4% 15	29.4% 15	3.9% 2										
20~29歳 n=45	割合 回答数	8.9% 4	22.2% 10	28.9% 13	37.8% 17	2.2% 1										
30~39歳 n=60	割合 回答数	6.7% 4	31.7% 19	33.3% 20	28.3% 17	0.0% 0										
40~49歳 n=73	割合 回答数	5.5% 4	31.5% 23	41.1% 30	20.5% 15	1.4% 1										
50~59歳 n=80	割合 回答数	2.5% 2	32.5% 26	35.0% 28	30.0% 24	0.0% 0										
60~69歳 n=98	割合 回答数	8.2% 8	45.9% 45	26.5% 26	15.3% 15	4.1% 4										
70~79歳 n=100	割合 回答数	17.0% 17	28.0% 28	31.0% 31	17.0% 17	7.0% 7										
80歳以上 n=57	割合 回答数	14.0% 8	26.3% 15	22.8% 13	19.3% 11	17.5% 10										
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	16.7% 2	25.0% 3	25.0% 3										
全体 n=576	割合 回答数	9.2% 53	31.8% 183	30.9% 178	23.3% 134	4.9% 28										

家庭での野外焼却や不適切な焼却炉による焼却は行わない

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		① 取り組んでい る	② どちらかとい う	③ どちらかとい う	④ 取り組んでい ない	⑤ 無回答	① 生活の便利さ・ 快適さがなくな るから	② 費用がかかるか ら	③ 手間や時間がか かるから	④ 悪いから、効果に なから	⑤ 必要だとおもわ ないから・除去 しにくいから	⑥ 取り組む機会が 少ないから	⑦ 理由はない・特 にないから	⑧ その他
16～19歳 n=51	割合 回答数	62.7% 32	15.7% 8	2.0% 1	15.7% 8	3.9% 2		1			7		1	
20～29歳 n=45	割合 回答数	66.7% 30	20.0% 9	2.2% 1	8.9% 4	2.2% 1				2		2	1	
30～39歳 n=60	割合 回答数	71.7% 43	20.0% 12	3.3% 2	5.0% 3	0.0% 0	1			2		1		
40～49歳 n=73	割合 回答数	76.7% 56	17.8% 13	2.7% 2	2.7% 2	0.0% 0				1		1	1	
50～59歳 n=80	割合 回答数	68.8% 55	20.0% 16	6.3% 5	3.8% 3	1.3% 1		1	1	1		3	1	
60～69歳 n=98	割合 回答数	69.4% 68	24.5% 24	3.1% 3	2.0% 2	1.0% 1				2			2	
70～79歳 n=100	割合 回答数	61.0% 61	19.0% 19	11.0% 11	4.0% 4	5.0% 5		1	2		1	3	2	
80歳以上 n=57	割合 回答数	52.6% 30	24.6% 14	7.0% 4	3.5% 2	12.3% 7				1				
無回答 n=12	割合 回答数	50.0% 6	41.7% 5	0.0% 0	0.0% 0	8.3% 1								
全体 n=576	割合 回答数	66.1% 381	20.8% 120	5.0% 29	4.9% 28	3.1% 18	1	3	3	2	15	11	7	

ペットが野生化し、生態系に影響を与えることのないよう管理・飼育をしている

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 回答数	25.5% 13	15.7% 8	2.0% 1	54.9% 28	2.0% 1		1			17		2	9
20～29歳 n=45	割合 回答数	48.9% 22	11.1% 5	4.4% 2	33.3% 15	2.2% 1				13				3
30～39歳 n=60	割合 回答数	35.0% 21	15.0% 9	1.7% 1	45.0% 27	3.3% 2					18	1	5	
40～49歳 n=73	割合 回答数	43.8% 32	8.2% 6	0.0% 0	42.5% 31	5.5% 4				21			9	
50～59歳 n=80	割合 回答数	40.0% 32	12.5% 10	5.0% 4	41.3% 33	1.3% 1				24		5	5	
60～69歳 n=98	割合 回答数	44.9% 44	13.3% 13	3.1% 3	30.6% 30	8.2% 8				20		4	5	
70～79歳 n=100	割合 回答数	32.0% 32	11.0% 11	3.0% 3	40.0% 40	14.0% 14			1	29		1	9	
80歳以上 n=57	割合 回答数	21.1% 12	12.3% 7	1.8% 1	38.6% 22	26.3% 15				11		1	5	
無回答 n=12	割合 回答数	58.3% 7	0.0% 0	0.0% 0	16.7% 2	25.0% 3				2				
全体 n=576	割合 回答数	37.3% 215	12.0% 69	2.6% 15	39.6% 228	8.5% 49	1		1	155		14	50	

文化財や伝統芸能を守る活動に参加している

年齢	集計	取組状況					取組みない理由							
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
16～19歳 n=51	割合 回答数	7.8% 4	27.5% 14	15.7% 8	47.1% 24	2.0% 1			3		9	6	9	5
20～29歳 n=45	割合 回答数	11.1% 5	13.3% 6	26.7% 12	46.7% 21	2.2% 1			3		16	1	9	2
30～39歳 n=60	割合 回答数	5.0% 3	21.7% 13	6.7% 4	65.0% 39	1.7% 1			2	2	19	5	9	2
40～49歳 n=73	割合 回答数	9.6% 7	16.4% 12	27.4% 20	46.6% 34	0.0% 0				2	26	7	15	1
50～59歳 n=80	割合 回答数	7.5% 6	16.3% 13	23.8% 19	52.5% 42	0.0% 0					33	5	13	5
60～69歳 n=98	割合 回答数	13.3% 13	21.4% 21	20.4% 20	40.8% 40	4.1% 4		1	1		27	7	14	2
70～79歳 n=100	割合 回答数	11.0% 11	22.0% 22	17.0% 17	42.0% 42	8.0% 8					18	7	9	6
80歳以上 n=57	割合 回答数	5.3% 3	12.3% 7	14.0% 8	47.4% 27	21.1% 12				1	7	4	5	3
無回答 n=12	割合 回答数	25.0% 3	8.3% 1	16.7% 2	33.3% 4	16.7% 2				1	2		2	
全体 n=576	割合 回答数	9.5% 55	18.9% 109	19.1% 110	47.4% 273	5.0% 29		1	11	5	157	42	85	26

## 問8 市に期待する施策

- ◆全ての年齢において、「①設備導入に対する助成」が「1番目に進める施策」として挙げられている。次に「④企業や市民の活動に対する支援」が各年齢で上位に挙げられている。
- ◆総合（平均点）は、40歳以上は「①設備導入に対する助成」が最も点数が高いが、「16～19歳」は「環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供」、「20～29歳」「30～39歳」は「③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り」が最も高得点となっている。
- ◆「⑤イベントや集会、研修会の開催」「⑧自然資源を活用した都市間交流や働きかけ」は、全年齢で評価が低くなっている。

※総合（平均点）は、「1番目に進める施策（5点）」、「2番目に進める施策（3点）」、「3番目に進める施策（1点）」として集計したものの平均値を点数として集計しています。

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| ①設備導入に対する助成             | ②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 |
| ③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り  | ④企業や市民の活動に対する支援        |
| ⑤イベントや集会、研修会の開催         | ⑥監視体制や規制の強化            |
| ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り | ⑧自然資源を活用した都市間交流や働きかけ   |
| ⑨地下水や地球環境などの調査研究        | ⑩その他                   |

### ◆ 全体

総合（平均点）		1番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.78	①設備導入に対する助成	27.8%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.27	④企業や市民の活動に対する支援	12.7%
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.07	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	11.1%

### ◆ 16～19歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	4.33	①設備導入に対する助成	29.4%
⑨地下水や地球環境などの調査研究	3.71	⑨地下水や地球環境などの調査研究	15.7%
①設備導入に対する助成	3.67	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	11.8%
		④企業や市民の活動に対する支援	

### ◆ 20～29歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.75	①設備導入に対する助成	22.2%
①設備導入に対する助成	3.50	⑨地下水や地球環境などの調査研究	15.6%
⑥監視体制や規制の強化		⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	13.3%
④企業や市民の活動に対する支援	3.20		

### ◆ 30～39歳

総合（平均点）		1番目に進める施策	
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.80	①設備導入に対する助成	35.0%
①設備導入に対する助成	3.74	④企業や市民の活動に対する支援	18.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.44	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	13.3%



◆ 40～49 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.71	①設備導入に対する助成	26.0%
⑥監視体制や規制の強化	3.67	④企業や市民の活動に対する支援	12.3%
③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り	3.62	③研究・学習・活動のための施設整備や拠点作り ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	11.0%

◆ 50～59 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.74	①設備導入に対する助成	33.8%
⑤イベントや集会、研修会の開催	3.33	④企業や市民の活動に対する支援	16.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.22	⑨地下水や地球環境などの調査研究	11.3%

◆ 60～69 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.75	①設備導入に対する助成	28.6%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	3.23	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	18.4%
④企業や市民の活動に対する支援	3.10	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ④企業や市民の活動に対する支援	13.3%

◆ 70～79 歳

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	3.98	①設備導入に対する助成	26.0%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.58	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	15.0%
④企業や市民の活動に対する支援 ⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	3.00	⑦企業や市民の取組を促すための制度や仕組み作り	9.0%

◆ 80 歳以上

総 合（平均点）		1 番目に進める施策	
①設備導入に対する助成	4.71	①設備導入に対する助成	21.1%
⑨地下水や地球環境などの調査研究	3.43	②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供 ⑨地下水や地球環境などの調査研究	12.3%
②環境保全の取組方や環境問題に関する情報提供	3.11	④企業や市民の活動に対する支援	10.5%

◆ ⑩「その他」の回答（自由記述を要約）

- 16～19 歳 信号をなくし、自転車の走りやすい道にしてほしい/
- 20～29 歳 大規模な再生エネルギー施設の誘致/海外人による山など土地購入/高齢者のポイ捨て禁止教育/
- 30～39 歳 環境を守るのは市民が中心となるべき/排水の取り締り（たまに川が臭い）/
- 40～49 歳 公共トイレの様式化（キレイだとキレイに町も保ちたいと思う）/
- 50～59 歳 街の中心部に人を集めて郊外には里山、田んぼ等自然を配置する都市計画実施/大野の地下水をブランド化する、アピールする、限定販売する/
- 60～69 歳 空地の除草（野生小動物が隠れるから）/
- 70～79 歳 公園や街路の木に名札を立てる（山林に囲まれていながら子供も大人もほとんど樹木の名前を知りません）/排雪のための流雪溝水量の確保/
- 80 歳以上 下水道の見直し（前の川がきたなくて衛生面が大変心配）/
- 年齢無回答 月に2回程度の図書館の開館時間延長（～21時くらいまで）/

年齢	集計	総合(平均点)										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	点数	3.67	4.33	3.13	2.90	1.86	2.78	2.47	2.41	3.71	1.00	
	回答数	27	9	16	20	14	9	19	17	17	1	4
20～29歳 (n=45)	点数	3.50	2.67	3.75	3.20	2.27	3.50	2.62	2.63	3.12	3.67	
	回答数	20	12	8	20	11	4	21	16	17	3	3
30～39歳 (n=60)	点数	3.74	3.44	3.80	3.38	2.54	2.11	2.53	2.27	2.40	3.00	
	回答数	38	9	10	32	13	9	34	11	20	3	1
40～49歳 (n=73)	点数	3.71	2.90	3.62	2.72	2.57	3.67	2.66	2.87	2.84	3.00	
	回答数	34	20	13	36	14	9	35	15	25	1	17
50～59歳 (n=80)	点数	3.74	3.22	2.41	3.05	3.33	2.73	2.57	2.70	3.00	4.00	
	回答数	46	18	17	40	6	15	37	20	25	2	14
60～69歳 (n=98)	点数	3.75	3.23	3.00	3.10	2.33	2.38	3.23	2.22	2.87	1.00	
	回答数	48	35	13	39	18	16	52	23	30	1	19
70～79歳 (n=100)	点数	3.98	3.58	2.92	3.00	2.33	2.13	3.00	2.73	2.52	3.00	
	回答数	41	31	24	28	12	16	32	22	42	2	50
80歳以上 (n=57)	点数	4.71	3.11	2.45	2.83	2.00	3.00	2.55	2.73	3.43	5.00	
	回答数	14	19	11	23	6	9	22	15	14	1	37
無回答 (n=12)	点数	3.00	0.00	3.29	3.67	1.00	3.00	2.33	3.00	5.00	3.00	
	回答数	5	0	7	3	1	3	6	2	3	1	5
全体 (n=576)	点数	3.78	3.27	3.07	3.03	2.35	2.67	2.75	2.57	2.93	3.13	
	回答数	273	153	119	241	95	90	258	141	193	15	150

年齢	集計	一番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	29.4%	11.8%	7.8%	11.8%	2.0%	5.9%	7.8%	5.9%	15.7%	0.0%	2.0%
	回答数	15	6	4	6	1	3	4	3	8		1
20～29歳 (n=45)	割合	22.2%	4.4%	8.9%	11.1%	4.4%	4.4%	13.3%	8.9%	15.6%	4.4%	2.2%
	回答数	10	2	4	5	2	2	6	4	7	2	1
30～39歳 (n=60)	割合	35.0%	5.0%	10.0%	18.3%	3.3%	1.7%	13.3%	5.0%	6.7%	1.7%	0.0%
	回答数	21	3	6	11	2	1	8	3	4	1	
40～49歳 (n=73)	割合	26.0%	9.6%	11.0%	12.3%	1.4%	4.1%	11.0%	8.2%	9.6%	0.0%	6.8%
	回答数	19	7	8	9	1	3	8	6	7		5
50～59歳 (n=80)	割合	33.8%	7.5%	3.8%	16.3%	2.5%	5.0%	10.0%	5.0%	11.3%	1.3%	3.8%
	回答数	27	6	3	13	2	4	8	4	9	1	3
60～69歳 (n=98)	割合	28.6%	13.3%	4.1%	13.3%	2.0%	2.0%	18.4%	4.1%	11.2%	0.0%	3.1%
	回答数	28	13	4	13	2	2	18	4	11		3
70～79歳 (n=100)	割合	26.0%	15.0%	8.0%	8.0%	1.0%	3.0%	9.0%	7.0%	7.0%	1.0%	15.0%
	回答数	26	15	8	8	1	3	9	7	7	1	15
80歳以上 (n=57)	割合	21.1%	12.3%	3.5%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	8.8%	12.3%	1.8%	19.3%
	回答数	12	7	2	6		3	3	5	7	1	11
無回答 (n=12)	割合	16.7%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%
	回答数	2		3	2		1			3		1
全体 (n=576)	割合	27.8%	10.2%	7.3%	12.7%	1.9%	3.8%	11.1%	6.3%	10.9%	1.0%	6.9%
	回答数	160	59	42	73	11	22	64	36	63	6	40

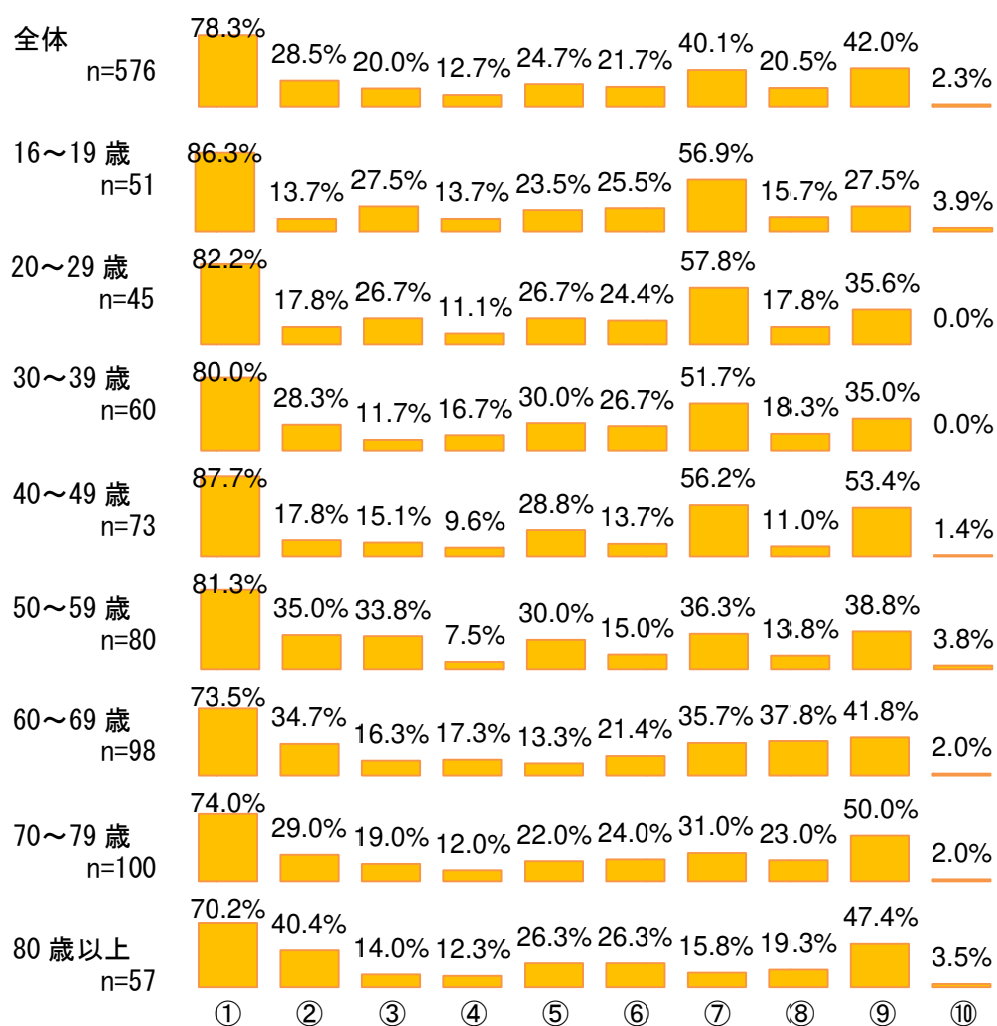
年齢	集計	二番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	11.8%	5.9%	17.6%	13.7%	7.8%	3.9%	11.8%	11.8%	13.7%	0.0%	2.0%
	回答数	6	3	9	7	4	2	6	6	7		1
20～29歳 (n=45)	割合	11.1%	13.3%	6.7%	26.7%	6.7%	2.2%	11.1%	11.1%	8.9%	0.0%	2.2%
	回答数	5	6	3	12	3	1	5	5	4		1
30～39歳 (n=60)	割合	16.7%	8.3%	3.3%	26.7%	10.0%	5.0%	16.7%	1.7%	10.0%	1.7%	0.0%
	回答数	10	5	2	16	6	3	10	1	6	1	
40～49歳 (n=73)	割合	11.0%	6.8%	1.4%	17.8%	12.3%	8.2%	17.8%	2.7%	12.3%	1.4%	8.2%
	回答数	8	5	1	13	9	6	13	2	9	1	6
50～59歳 (n=80)	割合	11.3%	10.0%	7.5%	18.8%	3.8%	6.3%	16.3%	11.3%	8.8%	1.3%	5.0%
	回答数	9	8	6	15	3	5	13	9	7	1	4
60～69歳 (n=98)	割合	10.2%	13.3%	5.1%	15.3%	8.2%	7.1%	22.4%	6.1%	6.1%	0.0%	6.1%
	回答数	10	13	5	15	8	7	22	6	6		6
70～79歳 (n=100)	割合	9.0%	10.0%	7.0%	12.0%	6.0%	3.0%	14.0%	5.0%	18.0%	0.0%	16.0%
	回答数	9	10	7	12	6	3	14	5	18		16
80歳以上 (n=57)	割合	3.5%	10.5%	7.0%	15.8%	5.3%	5.3%	19.3%	5.3%	5.3%	0.0%	22.8%
	回答数	2	6	4	9	3	3	11	3	3		13
無回答 (n=12)	割合	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%
	回答数	1		2			1	4	2		1	1
全体 (n=576)	割合	10.4%	9.7%	6.8%	17.2%	7.3%	5.4%	17.0%	6.8%	10.4%	0.7%	8.3%
	回答数	60	56	39	99	42	31	98	39	60	4	48

年齢	集計	三番目に進める施策										
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	11.8%	0.0%	5.9%	13.7%	17.6%	7.8%	17.6%	15.7%	3.9%	2.0%	3.9%
	回答数	6		3	7	9	4	9	8	2	1	2
20～29歳 (n=45)	割合	11.1%	8.9%	2.2%	6.7%	13.3%	2.2%	22.2%	15.6%	13.3%	2.2%	2.2%
	回答数	5	4	1	3	6	1	10	7	6	1	1
30～39歳 (n=60)	割合	11.7%	1.7%	3.3%	8.3%	8.3%	8.3%	26.7%	11.7%	16.7%	1.7%	1.7%
	回答数	7	1	2	5	5	5	16	7	10	1	1
40～49歳 (n=73)	割合	9.6%	11.0%	5.5%	19.2%	5.5%	0.0%	19.2%	9.6%	12.3%	0.0%	8.2%
	回答数	7	8	4	14	4		14	7	9		6
50～59歳 (n=80)	割合	12.5%	5.0%	10.0%	15.0%	1.3%	7.5%	20.0%	8.8%	11.3%	0.0%	8.8%
	回答数	10	4	8	12	1	6	16	7	9		7
60～69歳 (n=98)	割合	10.2%	9.2%	4.1%	11.2%	8.2%	7.1%	12.2%	13.3%	13.3%	1.0%	10.2%
	回答数	10	9	4	11	8	7	12	13	13	1	10
70～79歳 (n=100)	割合	6.0%	6.0%	9.0%	8.0%	5.0%	10.0%	9.0%	10.0%	17.0%	1.0%	19.0%
	回答数	6	6	9	8	5	10	9	10	17	1	19
80歳以上 (n=57)	割合	0.0%	10.5%	8.8%	14.0%	5.3%	5.3%	14.0%	12.3%	7.0%	0.0%	22.8%
	回答数		6	5	8	3	3	8	7	4		13
無回答 (n=12)	割合	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	回答数	2		2	1	1	1	2				3
全体 (n=576)	割合	9.2%	6.6%	6.6%	12.0%	7.3%	6.4%	16.7%	11.5%	12.2%	0.9%	10.8%
	回答数	53	38	38	69	42	37	96	66	70	5	62

## 問9 将来に残したい大野の誇りや象徴としての環境

- ◆ 「①湧水地・名水（地下水）」は、全ての年齢において一番多く選ばれている。「16～19歳」では、86.3%、「30～39歳」では87.7%が、残したい大野の誇りや象徴として選んでいる。
- ◆ 続いて、「16～19歳」「60歳以上」では「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が、「20～49歳」では「⑦日本一の夜空」が選ばれた。
- ◆ 三番目には、「16～19歳」では「②日本百名山荒島岳や山々の連なり」「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が、「20～29歳」では「⑨歴史的風情の残る町割や町並み」が選ばれている。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ①湧水地・名水（地下水）    | ②日本百名山荒島岳や山々の連なり |
| ③刈込池            | ④九頭竜湖の風景         |
| ⑤イトヨ            | ⑥六呂師高原           |
| ⑦日本一の夜空         | ⑧田園風景            |
| ⑨歴史的風情の残る町割や町並み | ⑩その他             |



◆ 「⑩その他」の回答（自由記述を要約）

16～19歳 大野高校/

30～39歳 水やイトヨ/

40～49歳 今のままの風景や光景/佐開や阪谷の美しい風景

50～59歳 亀山城/亀山

60～69歳 昔から残るものを大切に受け継いでほしい/幕末の大野藩の様々な施策と海へ出るロマン

70～79歳 こぶし通りの「こぶしの花」/蛍のすめる環境/

80歳以上 真名川/

年齢無回答 小学校（跡地も含めて）/

年齢	集計	将来に残していきたいと思う環境や場所、風景など										無回答
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
16～19歳 (n=51)	割合	86.3%	13.7%	27.5%	13.7%	23.5%	25.5%	56.9%	15.7%	27.5%	3.9%	5.9%
	回答数	44	7	14	7	12	13	29	8	14	2	3
20～29歳 (n=45)	割合	82.2%	17.8%	26.7%	11.1%	26.7%	24.4%	57.8%	17.8%	35.6%	0.0%	0.0%
	回答数	37	8	12	5	12	11	26	8	16	0	0
30～39歳 (n=60)	割合	80.0%	28.3%	11.7%	16.7%	30.0%	26.7%	51.7%	18.3%	35.0%	0.0%	1.7%
	回答数	48	17	7	10	18	16	31	11	21	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	87.7%	17.8%	15.1%	9.6%	28.8%	13.7%	56.2%	11.0%	53.4%	1.4%	5.5%
	回答数	64	13	11	7	21	10	41	8	39	1	4
50～59歳 (n=80)	割合	81.3%	35.0%	33.8%	7.5%	30.0%	15.0%	36.3%	13.8%	38.8%	3.8%	5.0%
	回答数	65	28	27	6	24	12	29	11	31	3	4
60～69歳 (n=98)	割合	73.5%	34.7%	16.3%	17.3%	13.3%	21.4%	35.7%	37.8%	41.8%	2.0%	6.1%
	回答数	72	34	16	17	13	21	35	37	41	2	6
70～79歳 (n=100)	割合	74.0%	29.0%	19.0%	12.0%	22.0%	24.0%	31.0%	23.0%	50.0%	2.0%	14.0%
	回答数	74	29	19	12	22	24	31	23	50	2	14
80歳以上 (n=57)	割合	70.2%	40.4%	14.0%	12.3%	26.3%	26.3%	15.8%	19.3%	47.4%	3.5%	24.6%
	回答数	40	23	8	7	15	15	9	11	27	2	14
無回答 (n=12)	割合	58.3%	41.7%	8.3%	16.7%	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%	25.0%	8.3%	66.7%
	回答数	7	5	1	2	5	3	0	1	3	1	8
全体 (n=576)	割合	78.3%	28.5%	20.0%	12.7%	24.7%	21.7%	40.1%	20.5%	42.0%	2.3%	9.4%
	回答数	451	164	115	73	142	125	231	118	242	13	54

①湧水地・名水（地下水）

③刈込池

⑤イトヨ

⑦日本一の夜空

⑨歴史的風情の残る町割や町並み

②日本百名山荒島岳や山々の連なり

④九頭竜湖の風景

⑥六呂師高原

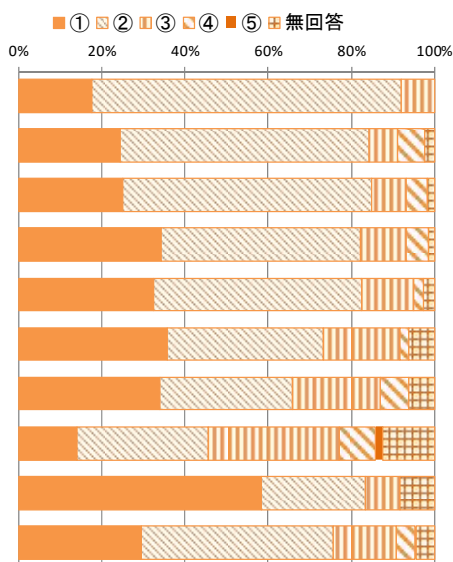
⑧田園風景

⑩その他

## 問 10 「結の故郷越前おおの」の認知度

- ①「結の故郷」に込められた意味も含めて知っている  
 ②キャッチコピーは知っているが、意味は知らない  
 ③なんとなく聞いたことがある      ④聞いたこともなく、知らない      ⑤その他

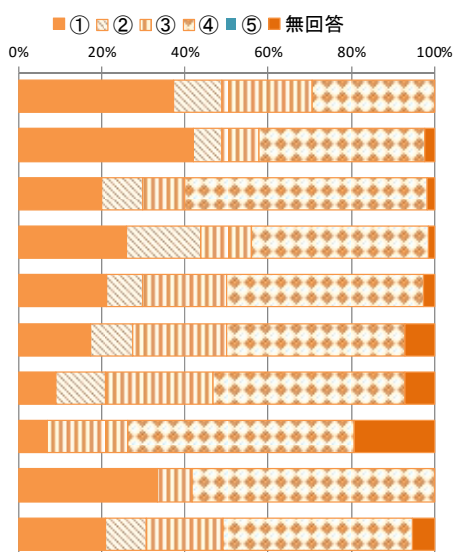
年齢	集計	①	②	③	④	⑤	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	17.6%	74.5%	7.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	回答数	9	38	4	0	0	0
20～29歳 (n=45)	割合	24.4%	60.0%	6.7%	6.7%	0.0%	2.2%
	回答数	11	27	3	3	0	1
30～39歳 (n=60)	割合	25.0%	60.0%	8.3%	5.0%	0.0%	1.7%
	回答数	15	36	5	3	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	34.2%	47.9%	11.0%	5.5%	0.0%	1.4%
	回答数	25	35	8	4	0	1
50～59歳 (n=80)	割合	32.5%	50.0%	12.5%	2.5%	0.0%	2.5%
	回答数	26	40	10	2	0	2
60～69歳 (n=98)	割合	35.7%	37.8%	18.4%	2.0%	0.0%	6.1%
	回答数	35	37	18	2	0	6
70～79歳 (n=100)	割合	34.0%	32.0%	21.0%	7.0%	0.0%	6.0%
	回答数	34	32	21	7	0	6
80歳以上 (n=57)	割合	14.0%	31.6%	31.6%	8.8%	1.8%	12.3%
	回答数	8	18	18	5	1	7
無回答 (n=12)	割合	58.3%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%
	回答数	7	3	1	0	0	1
全体 (n=576)	割合	29.5%	46.2%	15.3%	4.5%	0.2%	4.3%
	回答数	170	266	88	26	1	25



## 問 11 「SDGs」の認知度

- ①「SDGs」の内容も含めて知っている  
 ②「SDGs」は知っているが、意味は知らない  
 ③なんとなく聞いたことがある      ④聞いたこともなく、知らない      ⑤その他

年齢	集計	①	②	③	④	⑤	無回答
16～19歳 (n=51)	割合	37.3%	11.8%	21.6%	29.4%	0.0%	0.0%
	回答数	19	6	11	15	0	0
20～29歳 (n=45)	割合	42.2%	6.7%	8.9%	40.0%	0.0%	2.2%
	回答数	19	3	4	18	0	1
30～39歳 (n=60)	割合	20.0%	10.0%	10.0%	58.3%	0.0%	1.7%
	回答数	12	6	6	35	0	1
40～49歳 (n=73)	割合	26.0%	17.8%	12.3%	42.5%	0.0%	1.4%
	回答数	19	13	9	31	0	1
50～59歳 (n=80)	割合	21.3%	8.8%	20.0%	47.5%	0.0%	2.5%
	回答数	17	7	16	38	0	2
60～69歳 (n=98)	割合	17.3%	10.2%	22.4%	42.9%	0.0%	7.1%
	回答数	17	10	22	42	0	7
70～79歳 (n=100)	割合	9.0%	12.0%	26.0%	46.0%	0.0%	7.0%
	回答数	9	12	26	46	0	7
80歳以上 (n=57)	割合	7.0%	0.0%	19.3%	54.4%	0.0%	19.3%
	回答数	4	0	11	31	0	11
無回答 (n=12)	割合	33.3%	0.0%	8.3%	58.3%	0.0%	0.0%
	回答数	4	0	1	7	0	0
全体 (n=576)	割合	20.8%	9.9%	18.4%	45.7%	0.0%	5.2%
	回答数	120	57	106	263	0	30



## その他、自由回答

大野市の環境をより良いものとするため、日頃感じていることや、地球温暖化防止のためのアイデアなどを自由に記入。

### ◆16～19歳

#### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・血を洗うとき洗剤を使いすぎないようにする。
- ・公園のトイレが汚い。電柱の下に鳥のフンがたくさん落ちていてそれが掃除されない。道に生えている雑草が切られたままになっていたり枯れたままになっていたりしているのが汚い。大野市が抱えている環境問題が市民に知られていない。
- ・ごみのポイ捨てが多いと思う。
- ・大野は他の町と比べて比較的きれいだと思う。ただ道路にたばこの吸い殻や、公園に弁当の残骸などが落ちていることが多くあるので、とても残念に思う。
- ・川へのごみのポイ捨てが多くみられるような気がする。
- ・ごみのポイ捨てやめる。
- ・昔はあんまり感じなかったが、最近、空気がすこし濁っているように思う時がある。町から外れたところに行くとおそらくごみを燃やし煙が上がっているときがあるので注意喚起をした方がよいと思う。
- ・平気でごみを捨てている人が多く感じられるので、まず環境を汚染するとどんな事がおこるか、情報をどんどん提供して、市民への理解を深めてもらい、地方公共団体が円滑に環境政策を進めるようにしてほしいと思う。

#### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・大野市は自然が豊かでとても暮らしやすい町だと思う。

#### 良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・町並みがきれいである。水がおいしい。自然の観光地がたくさんある。住みやすく落ち着く。などいいところがたくさんある。大野市は田舎のイメージがつよく若い人は遊びにくるイメージが少ない。私の友達がデートで大野を訪れた時には、大野城、朝市、各商店などで、観光を楽しみ、楽しかったといっていました。なかなか生きにくい大野市かもしれませんが、きてみたら、良さはわかると思うのでもっとPRしてほしいと思います。
- ・緑化などのために街路樹を植えるのはよいことだが、市が手入れをしないと街路樹が歩道をふさいだり雑草が増え外見も悪くなる。

#### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・エアコンの使い過ぎやめる。

#### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・ボランティアでゴミ拾いをする機会を増やす。マイバッグを持って買い物に行く。ゴミを見つけたらしっかり拾って捨てるようにする。
- ・買い物のときはビニール袋を使うのではなく、エコバッグを使うこと。市役所に携わるみなさんへ。大野はとても良い場所で生涯ずっとここに暮らそうと思っています。お仕事大変だと思いますが、これからも頑張ってください。
- ・大野市に来た他県の方がゴミを捨てていってしまうことを無くしてほしいと思う。
- ・給食で出た残飯を肥料にして環境に返すのはどうでしょう（家庭でも）。いらぬ物を譲り合うシステムがあると無駄に買ったり捨てたりしないかも。

#### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・小学校でやっていたゴーヤなどで緑のカーテンを作るのが良いと思う。種や苗を配る取組もよいかも。
- ・二酸化炭素を減らすために、植樹をすといと思う。
- ・自動車を使わないと行動がとりにくいで、もう少し、公共交通機関を整えてほしいです。（地球温暖化防止のため）
- ・電気を利用する乗り物を増やすなどしてCO2の排出を減少させるべきだと思う。

#### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・例えば「大野の水を守ろう」という目標をかかげたとします。そのためにやるべきことはまず施設を作るのではなく市民への説明などだと思います。私は水のがっこうを父に教えられて知りました。その時、私は大野にいないのに知らないところがあるのだと気づきました。知らない人がいる限りもし説明があったとしてもその説明が行き届いていないのではないかと思います。もう一つあります。問8の選択肢にイベントや集会、研修会の開催とありますがそれはとても良いと思います。理解を深めることやイベントに参加することにより良い点がさらに見つけられることは良いことだと思うからです。でも一つおかしいなと思う点があります。それはどうして会社から何人か行けといわれ参加するのかわかりません。私は母が参加した講演についていきました。その時、だいたいは大人の方でしたがきていた人の半分は寝ているように見えました。内容はそれほど難しくなくこれからの時代の変化に大切な話だと思いました。それを会社から行けと言われたから行ったでは良くないと思います。講師の方も何のために講演をしているのかわからないだろうし、私も何のためにこの人たちがここにいるのかわかりませんでした。だから、研修会や講演会などのイベントは参加したい人が自主的に参加すべきだと思います。それに会社向けかもしれないが、内容によれば市民が参加しても良いと思います。市民の中には興味を持つ人もいると思います。「SDGs」は発表されてから5年もたっているのもっと市民が知っていても良いと思います。
- ・6PIにあった「広報誌やパンフレット～」に関してですが、どんなことにどれだけ気をつけたらどの程度の効果があるのかを教えてください。ユニセフの「〇〇円でいくつ〇〇が～」のようにわかりやすい指標、目標を提示していただくと目安がわかり取り組みやすくなりと思いました。

#### その他

- ・大野の良さをもっとアピールすればいいのに、と思っています。大野の発展に貢献したい10代より。
- ・特に何もなくても良い環境であると思っています。
- ・信号をなくし、自転車安全に走ることができ、将来、この町が自転車の町として有名になってほしい。
- ・今、LGBT+又はSOGIの問題がよく取り上げられていますが、それについてもっと真剣に取り組むべきです。とくに学校です。私も中学まではそれほど耳にさわるような言葉は聞いてこなかったのですが、高校に入りよく耳にします。男と女で分けたがる人や女なら男が好き、男なら女が好きという概念を言う人、つまり同性同士で付き合っていることを気持ち悪いなどという人などおかしな言葉が飛び交う教室は当事者でなくても「は？」となります。正直私はそういう人たちとも仲良くしななければいけないのかと思うほどに辛く感じます。きっと当事者にとってはもっと辛く、学校は地獄だと思います。子どもだからこその学校という場をつかっていることはたくさんあるはずですが、例えば学校の先生に正しい知識を教え、それを先生から生徒に教える。これも大切だと思います。そして、LGBT+の当事者はかわいそうではないのです。トランスジェンダーについてはそうはいえませんが、でも私から見るとそんな環境でも過ごさなければならないことがかわいそうなのです。だから今の現状を少しでも変えてほしいと思います。長くなってごめんなさい。LGBT+を取り上げたのは問1が必要かと思ったからです。どんなアンケートも性別は必須になっています。それが疑問です。アンケートは頭とここと考えるので体は関係ないのでも性別は必要ないと思います。せめて「自分と性性に○を付けてください」や「答えたくない」という欄をもうけるべきだと思います。私の意見ですので間違っていた点があればごめんなさい。長文失礼いたしました。
- ・借金があることから考えてはどうでしょうか

## ◆20～29 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

・便利になるにつれ星空がうすれつつある

### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

・地下水はこのまま減少し続けたらどうなるのでしょうか？年々、雨や積雪も少ないですが、節水以外で方法などあるのでしょうか。

### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

・大野市はごみの分別が適当であるため、もう少しきちんと分別するように市民に呼びかけた方がよいと思います。

・環境バザーを市で開催するのはどうでしょうか。衣類や雑貨、おもちゃなどリユース（再使用）できると、捨てずに新たな人の役に立つと思います。

### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

・第一に地球温暖化が本当に進んでいるのか疑問に思う。ここ1、2年については暖冬であったり最高気温の更新といったニュースがあったものの、4、5月に春らしくない寒気に見舞われたりするなど、一貫していない気候だと思う。「本当に地球は温暖化しているのか」という点を明確にしたうえで、本当に温暖化しているのであればその原因を改めて精査し対応する必要があると思う。温暖化については「良くない事」という面しか言われていないがメリットデメリットを示したうえで対応する必要があると思う。本アンケートでも思ったが、環境のための行動ではなく節約のためにした行動が結果的に環境を思った行動にもなっているの、一面的な部分だけを言われると少し違和感がある。

・自転車やウォーキングをして自動車を使用しないことのできるエコポイント。そのエコポイントをスーパーの食料品やドラッグストアの日常品を購入できるものに使え等。ポイント換算はスマホ歩数計アプリや歩数計を掲示して換金できる等。健康づくりも含めて行えるのではないかな。

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・年齢が上の方が水の保全やごみの分別に全く意義を見出していないことが多い。年齢間でギャップがあるように感じる。

・私は愛知の大学に通学しているため、普段は愛知で生活をしているのですが、非常に夜間の騒音や犯罪事件（少し関係はないですが）が無く、大野は心地よく寝られると感じます。一人ひとりが環境意識を持てるよう、回覧板などに10年前の大野などの緑豊かだったところと現在の大野を比較し、見られなくなった生き物が汚くなった水路などまとめたものを公表すべきであると思う。防災マップならぬ環境ギャップマップなど見やすいものは尚嬉しい。

・設問8にあったように、環境保全に取り組んでいる事業所や組合などに予算を充てる。家庭での環境保全を目的とする家電等の購入費の助成制度。

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・現在、大野市に籍を置いているが、現住所は遠方なので、大野市の環境施策に対する回答としては十分なものではないと思います。

## ◆30～39 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

・川が臭い時があるので下水をもっとしてほしい。

・空地の草刈など地主方に実施するよう働きかけてほしい。町並み等が損なわれるし、虫などの発生も多いため。

・手軽に捨てられる分別したごみ箱を多く設置したらポイ捨ても減るはず。

### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

・大野市は自然に囲まれているので景色や星、水などもきれいで環境に対して、日ごろ不快に感じたことはありません。ただ、子どものころに遊んでいた川が今は水草が生え、雑草も伸び川に入れないのが残念です。自然環境はとても恵まれていると思うので自然を生かした子供たちが楽しめる場所があるとよいなと思っています。

・人間が山に入り込んで必要もない工事などで自然破壊をするから野生生物が集落において来て人間に危害を加えるので今すぐにも山の自然破壊をやめるべきだ。昔は野生生物が人間に危害を加えるようなことはなかったはずだ。野生生物に罪はない。悪いのは全部人間だ。山や川の工事は地元住民の意見を聞いて必要がなければ工事をすべきではない。自然を守るために。

・すてきな大野市の自然と一緒に守っていきましょう！応援しています！

### 生物の多様性の確保（生物の保存・生息環境の保全ほか）

・野生動物が大変多いが有害鳥獣に関してほとんどそのまましているのと知った。ジビエ実用化取り組みが全国的に普及している中、大野市も環境資源として検討してほしい。

・中野清水には、以前イトヨがいたのに、今は外来種の魚しか見ません。これでいいのでしょうか。今テレビで「緊急SOS！池の水全部抜く大作戦」という在来種の生態を守るという内容で、中野清水もこれからの未来を守るためにTVの力を借りて積極的に動いてほしいなと思いました。それによっていろいろな市民の方々も身近に感じ、参加しようと思う方も出てくると思います。今はコロナで難しいかもしれませんが、検討してくださいとありがたいです。

### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

・大野市の場合、水といえば湧水である。従って水の使い方についてもっと厳しく市民に伝える必要はないか。特に冬の融雪には注意。また細かい使い方、水の出っぱなしと防ぐ等。水がなければ人間は生きることができない。

・大野へ移住してきて、地下水について市民の意見がばらばらで何が本当なのか真実を知りたくなった。今住んでいる借家も地下水だが、詳しく検査してみるとこれといって問題はなさそうで、隣の家の方は毎日そのまま飲んでるという。地域差があるのだろうか。「汚染を気にして飲まない」と言い切る市民もいて驚いた。

### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

・ごみ分離の徹底を図る必要がある。さらに空き缶等のポイ捨ても目立つのではないかな。河川には空き缶がたまっているのをよく見る。

・ごみの分別について、冊子を確認するのが面倒なときもあります。ほかの自治体ではラインから質問を入力するとAIが回答してくれるシステムを導入しているところもあるので、大野市でも導入してもらえると大変便利かと思います。

・こういう紙の資源を送りつけずに、メールなどインターネットを使ったらどうですか？ラインもやっているのですから。若い方はだいたいできるでしょう。年輩の方などは仕方ないですが・・・。切手代ももったいないです。

### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

・温暖化、空気汚染の防止のために公共交通機関を使用すべきだと思うが、大野市は市内のごく一部の人にしか使えない公共交通機関となっているのが大きな問題と考える。学生の通学、社会人の通勤で電車が使えず（本数が極端に少ない）。村はバスも通らず孤立しているため、一人一台マイカーの市にまわっているのはあきらかである。市民が使いやすい公共交通機関の整備による環境保全を進めていただきたい。

・車が多い地域だからこそ、電気自動車、HV車等のエコカーを推奨してほしい。

・電気自動車や水素を使う自動車をもっと多くしてほしい。その為にも、電気ステーションや水素ステーションを増やしてほしい。

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

・子育てするには自然に触れたり、とても良い環境だと思うが、公園の劣化が目立ったりする。自然を生かしたアスレチック作りが整備してもらえると嬉しいと思う。かつて天国のような水を使ったイベントも夏の間は毎週行うなどしてもよいのでは？亀山を使ったウォーターライダーとか三国の運動公園みたいな取組を真似するのはどうですか。

・子供たちの心に残る様なイベント、教育支援。



## ◆40～49 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・生活排水が直接川へ入っていること。下水の整備を整える
- ・私が働いている店頭には、以前ごみ箱が設置してありましたが、分別を無視して家庭ごみ（生ごみや期限切れの総菜）食べ残しの弁当パック、飲み残しの缶やペットボトル・紙コップなどをごみ箱に大量に入っていました。そのニオイをかきつけてカラスがあさったりして駐車場にごみが散乱したり、自転車のカゴに入っている買い物袋をあさったりするようになりました。現在コロナの影響もあってごみ箱は撤去されましたが、それでもトイレのごみ箱などに捨てられています。明らかに家庭ごみなのです。若者だけでなく、年配の方も車から持ってきて捨てているのを目撃しています。自販機の裏に隠してあつたりもします。片づける人の気持ちも考えてほしいです。特に中身が入っているものは分別しないといけないものが多く、他人のごみを分別するつらさはわかってほしいです。最近年齢関係なくモラルのない方が多いので、改めて考えてほしいです。きっとほかの店の方も同じ思いをしている方が多いと思います。
- ・ごみのポイ捨てや野焼きなど、意識が低い人が多いように思う。（自分勝手な人が多い）。市民全体で意識をしないと意味がないと思うので、現況を把握できるイベントや環境が良くなる生活がより良いものになるよということを具体例を出すと取り組みやすいかなと思う。

### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・近くに川がありますがいつもごみや葉っぱ等が流れている様に思います。水のきれいな町として有名ですが、川を見ると残念に思います。
- ・川が汚い時が多い。平成大野やあたりの清水～内山家の流れにコケが多く清掃を強化してほしい。毎日通るものとしては見た目に気持ちが悪い。
- ・家の前の排水路の水の流れが悪い。町内の側溝清掃時水が全くと言っていいほど流れていない。上流で止められているとも聞いたこともあり、流れを良くしてもらいたい。下流の者にも水は必要かと思う。
- ・道の駅や中部縦貫道など、人間の利便性を求めて新しいものが増えているが、大野の美しさはそれでいいの不安です。手の入らない素朴な自然も残してほしいです。
- ・地下水の保存。空気汚染等・・・大野の自然をなるべく残し欲しい。箱モノはいらぬ。税金を自然保護に使って欲しい。

### 良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・道路沿いの木の花が風に散ったり枯れたりとかして、道路に花びらがいっぱい落ちていての見て誰か掃除をすればいいのに。。。といつも思っています。花が咲いているときはきれいです。（こぶしの花とか。。。）
- ・ふくい団体のときの花のようにプランターの花を道路に並べるといいと思います。プランターにその時のテーマに沿ったメッセージを入れることで通るたびにメッセージが目に入りますし、花による効果（環境はもちろん・人の気持ちが穏やかになったり）も期待できると思います。

### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・水の再利用をしていくと良いと思う。

### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・市が一体となって一斉に電気（家電）を切る時間を放送し一時間程度節電をするように促す・・・とか。

### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・大野市はほかの市町よりごみの分別に対する意識が低いと思う。よい焼却施設があり、燃えるゴミで出してよければ市民は当然出すだろう。でもごみを減らしたければ、最終的に燃やさずとしてもしっかり分別させるきまりを作っていく必要がある。
- ・市民一人一人がもっとリサイクル意識をもってごみの排出量を削減していかなければならないと思う。

### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・地球温暖化防止のため、大野市を訪れた環境客や市民の方に市内移動を車ではなく自転車をレンタルしてみてもどうでしょうか？もちろん自転車は回れる範囲のみですが。。。歩いてOKですが。。。。
- ・このアンケートは自然環境についてが多く、ゴールに直結している内容が多いと私は思いました。環境といえば、労働・社会経済・生活等様々なことがあります。個人的に言えば仕事は福井市に通勤しています。ある人によれば、朝の通勤で大野市から福井市に向かう車は200台以上とのことです。私が20代のころには越美北線は朝と夕方には30分ぐらいで着く快速がありました。それがあれば排ガスも減ると思うし、交通事故も減り、大きくとらえれば環境に良いのではないのでしょうか？様々な方々の意見や視点が福井市にとって良くなればと思いますし、このようなアンケートは今後も実施していけば良いと思います。中部縦貫道が開通すれば更なる問題も出てくると思います。市政に携わる方々も頑張ってください。
- ・大野の人は車に慣れ親しんでいるからか、どんなに近い場所でも車に乗っていく人がとても多い。せめて1～2km県内を車ではなく自分で歩く、走る、自転車に乗るなど（もちろんできる人だけで、体の悪い人はいいです）すれば、環境が守られるだけでなく、交通事故も減るのではないと思う。将来的には自分の体の衰えも防ぐことができ、車に乗ることが当たり前で、小さい私たちは歩いたり走ったりする人を見ると「なぜ走る歩くの？車がいないの？」とよく質問するのを将来のことを考えて心配になってきます。

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・まだ大野市に住み始めて間もないのですが、子どもたちが遊ぶ公園は広いなあと思います。自然もたくさんあり、虫等苦手な子供たちが少しずつ好きになってくれるとよいと思いました。小学校でも畑等あり、野菜等どうい風に育つのか、どのようにするのか、自然に学べるのが良い所だと思います。ただ、日本海側なのでじつとりとした夏は大変で、コロナの影響で、小中学校の夏休みが短縮になって暑い日の登下校が心配です。大野に住んで大野の良い所をたくさん発見していきたいなあと思っています。ありがとうございます。
- ・いろいろな体験施設、自然と観光推進をもっと効果的に結びつけるべき。大野に来る客が求めているもの（いやしや都会にはない自然や街並み）をもっとデータでしっかり把握し、満足いく環境を整えるべき。（例）六呂師のグラススキーは、施設が中途半端。和泉のホロッサの体験時間は、公共交通機関の到着時間とずれているなど。
- ・環境を大切にしていこうと大野市民に伝わる活動がさらに必要と思う。また、市民に活動が浸透するものでなければならぬ。子どもから大人までがかつどうにさんかできるイベントがあり、2～3か月に1回、半日程度の時間で活動を続けてみたらいいのではないのでしょうか。環境をつなげた観光振興も市民が理解して、なじみのあるものになっていくといいと思う。ほかの街とは違った環境の取り組み、水を守っていく取り組みを考えて、都市圏にアピールしていくと良いと思う。その取り組みが、1つの商業化となり、働くところが増え、大野市へ移住してくる人が出てくるような大きなスケールを持ってほしい。
- ・便利な世の中に慣れてしまっている昨今、環境を守るための取組は、時に不便と思われる行動を強いられることがあります。恵まれた環境を後世に残すためには息の長い取り組みが必要で、ポイントは人々の意識改革かと思っています。
- ・本当に申し訳ないくらい何もしておりません。それが原因で温暖化が進んでいるのであれば積極的に温暖化防止のためにできることがあればしたいと思っています。あまり温暖化のために大野市が〇〇をしているのを自分は聞いたことがありません。それが宣伝不足なのか本当にしていないのかはわかりませんが・・・。個人の意見ですみません。
- ・悪い環境（道、ごみを含め）や改善が必要な場所を気軽に市に知らせることができ、スマホの写メを誰もが送信できるような受付可能なアドレスがあればどうかなと思います。身近な環境こそ、取り組む意欲も出やすいです。
- ・今回のアンケートの中で大野市の環境を守っていかないといいなと思っていましたが、日々の日常のなかでそれを意識する機会はほとんどないので、広報誌やパンフレット等による環境保全の取り組み方や環境問題に関する情報提供をお願いします。

### その他

- ・ただ植えてばっかり枝を切る、街路樹とかは不要では。その世話にかかるお金を必要な環境対策に使って欲しい。
- ・環境に重きを置いてくださるのは感謝しているが、特化しすぎないようにしてほしい、これから人口減少化が進むが、格差がひどくならないように考えてほしい。
- ・大野には空き家が多く、景観が悪い、治安も悪いので、早急になんとかしてほしい。大野には高齢者が多く、そのうち自分も高齢になるが、車の運転が不安で早めの免許返納が必要だと思うし、返納してもらえよう対策がもっと必要になると思う。返納しても大丈夫がと考えるような環境にしてほしい。雪が降った時、狭い場所の除雪に来てくれない事、車は通っても歩道の除雪が遅く、結果的に車道を歩くことになり、とても危険です。車を運転するものも困ります。車道はもちろんですが、歩道の除雪も早めに行って欲しい。

## ◆50～59 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・下水道整備を100%にする
- ・市の下水道事業がはたして将来の人口減少を十二分に考えて行われているのか少し疑問に思うところがあるので、この点を市のホームページなどで説明してもらえるとありがたいと思います。
- ・大野市は環境による問題は特になく、しいて言えばごみを河川に捨てる者がいるくらいだ。
- ・だんだん増えていく空き家と利用してリフォームして若い人に住んでもらうといいと思う。
- ・カラスの駆除を徹底的にお願いしたい。

### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・地球温暖化が問題になっているのはわかります。これは全国規模のことです。大野として何を守っていくとよいのか、あれもこれもでなく、絞っていくと取り組みやすいのかなと思います。生ごみを肥料にしたりすることや、河川のごみ拾いなどでできそうです。
- ・きれいな星空を守り、市外の人にも大野へ来て見てもらえるような取り組みに期待しています。
- ・大野市の環境が良いことが継続されるよう願っています。星がきれいなことが自慢でしたが、近くに明るい建物が建ってしまうと星が以前よりみえなくなってしまうかもしれません。大野市として自然を大切に、自然と共有する、生活が保てるように考えていただきたいと感じています。都会とは違うところが一番の魅力の大野だと思っています。
- ・農地を放置しないことが言われていますが、地区によっては高齢化で自分の農地を維持していくのも難しい状況があります。ほおっておくと草があつという間に覆われ管理することが大変なところもあると思います。
- ・環境を整えるために生活基盤を確かなものにする必要あり。田畑を大切に農作、林業をお金になる仕事として生計を立てられるものにする。そのためには農業、林業従事者を市職員（公務員）として採用して繁栄させる必要ありと考えます。農業が栄えて人が暮らせば当然環境は整うはずです。
- ・里山の荒廃、害獣の増加も環境破壊と思う。

### 良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・環境を良いものにするためには、自分の住んでいる自宅のまわりをきれいに草を刈ったり、ごみを出さないようにすることが、自然と良い環境になっていくと思っています。そうするには、資源ごみの回収日や活動している店に持っていきよう心がける。私たちのまわりは自然がたくさんありますが、雑草がはえるため、草刈が大変です。時間と手間がかかります。除草剤をまく時もあります。そうすると環境破壊です。なるべく使用しないようにはしますが、見た目もありませんのでやむを得ないと思つてます。
- ・先日、ごぶし通りを業者の方が草刈りしているのを見かけました。大変ありがたい事と思い感謝しております。しかし、まだまだ街路樹付近、街並みでの雑草で、景観が損なわれていると感じます。年に1度、クリーンアップ大作戦で、自治体できれいにされていると思つてますが、他の県内市に比べると残念な思いになります。市民一人一人が、各自分の敷地内だけでなく、隣接する市道、県道など公共の道端の雑草、ごみなども心がけてきれいにしたいだけだとあしがたいと思います。きれいな街並みで、観光客がまた来たいと思つていただけの心がけは、自分の家のまわりからはじめられると思います。大きい事はできませんが、まず、自分の家のまわりからきれいにしていける事を望んでおります。

### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野の旧市街地の一部地域における地下水がかなり以前から汚染されたままの状況と聞いたことがあります。市役所もある程度それについて把握されているのであればその汚染源の特定やその除去など対策をとっていただきたいです。ふだん飲用している地下水が何らかの形で汚染されているのならばその公表と対策を至急お願いします。
- ・大野はやはり「水」だと思います。山々からずつとおいしい地下水を飲める環境であつてほしいものです。市民一人ひとりのごみ処理や排水などを気を付けて生活するように、常に呼びかけていかななくてはならないと思います。

### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・環境問題について大声を上げる人たちはどの様を考えて行動、活動しているのだろうか。原子力発電に反対する人は自宅でも電気を使わないのだろうか。風力や太陽光発電を進める人は発電用風車の騒音や振動問題、太陽光発電用の大量の電離による景観破壊の声に対してどのようか答えるのだろうか。人の生死にかかわる公害問題からより良い生活の場を求める環境問題に変わってから何が正解なのかわからなくなつてしまったのではないかと思つている。それほど現代の環境問題は多様化、複雑化しているのだ。原子力発電に危険な部分があることは確かだが、これを止めることで代替エネルギーとして火力発電所で燃やされた化石燃料により温室効果ガスが以前より大きく増えていると伝えられている。私たちは知らされる情報をうのみにせず、自ら調べることによって環境問題の何が正しいのかを把握しなければならぬのだ。行政に必要なのはそのための情報公開なのだと思つた。
- ・風力発電、太陽光発電の設備を小中学校に設置（野外に）。発電量を大きく表示し、常に変化がわかるようにする。児童、生徒及び大人が興味をもって生活できるようにする。情報の発信。学校でのとりくみをつながし、教育をすることで意識を変える。
- ・日常生活における温暖化対策として、エアコンの設定温度は冷房を1度高く、暖房を1度低くするといふと思います。使わない電化製品は、主電源を切りコンセントからプラグを抜いておくことが大切で、私たち一人ひとりが省エネルギーに取り組むことが大事だと思つた。

### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・公共交通機関を利用するため、本数を増やす。また、運賃を安く。
- ・急激に進む気候変動に不安恐怖を感じている。

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・建設中の道の駅を核にして、観光客を呼び込み、新たな企画（例えば、市内周遊コース、六呂師高原を満喫する、市内名所めぐり、サイクリングコース、大野盆地を一望に眺める絶景、展望台の設置）にリンクできるとよい。人がこれば活気が出る。何か新しいものが、アイデアが生まれる。大野の良さをアピールしてほしい。道の駅へ高速から降りるアクセス、また高速に入るためのアクセス道路を利便性のあるようにしてほしい。道の駅で販売するいろいろなアイディアグッズ・商品開発に力を入れる。大野のおいしい水をブランド化し、限定販売する（年間何本までと決めておく）
- ・幼少期から関心を高められるよう働きかけを行う。
- ・環境をより良いもの・・・とはどういった環境のことをいうのでしょうか。昔よりクマ、サル等を見るようになったのは、人間の近くが良くなり、自然のものが出てくるようになった？それとも山奥が悪く出てくるようになった？生活をしていく中で”良い環境に”というのであれば未来都市の様にドームの中だけのことを考えていくしかないでしょう。身近だけを良いものにと考えては何も進まないでしょう。地下水の事・・・例えば大野は地下水の源はどこでしょうか。私は知りません。自分の住んでいる所の雨はどこかの源になるのでしょうか。そんなことを周知するとちょっと考えが変わるのではないのでしょうか。
- ・賞金付き（商品券）の写真コンクール（大野の自然、水、イトヨ、星空など）。広報おおので掲載するとともに大野の自然に誇りを持ってもらう。
- ・一人ひとりが環境保全の取り組みをしても、その結果が目に見えにくい。自分たちが地道に取り組んだ結果（成果）が具体的なもので確認できたり、認められるような機会が増えると、気持ち的にも上がるような気がする。毎日亀山へ散歩していることを日課にしている人がそのついでにごみを拾うことを1カ月続けているなど、地道な取り組みを紹介する機会を増やすなど。テーマを決めたり活動の時期を決めたり。
- ・地下水や湧水保全の取り組み方や環境保全の取り組み方に関する情報提供をお願いします。広報誌やポスター等で我々の目につく様にお願ひします。
- ・新しい施設等をつくることをせず、今あるものを再利用し、一時の関心を集めるためではなく長く続けられる活動をしていくことがよいのではと思う。小規模のイベント（バザーや飲食店など楽市のように誰でも参加しやすい形）を季節ごとに何か自然保全や何か関連付けて定期的にを行うことが市民も参加しやすいのではないかと思つた。

### その他

- ・大雨など自然災害に向けての対策、取組
- ・とても住みよいまちだと思います。市職員の皆様が日頃よりご尽力くださっているからだと思います。心より感謝申し上げます。

- ・秋ごろのイベントを集約して、大野市をPR。また経費の節約に向けてのイベントを企画してほしい。
- ・それよりも空き家が多く人口が減少疎すぎている方が問題かと思う。また、市の借金が300億円くらいあるのもどうかと思う。いっそのこと福井市と合併してはどうか？

## ◆60～69 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・カラスが夜になると大野市街地に大声をあげて飛びかっている。停車中の車に止まっていて人がそばを通過しても逃げず恐い。電柱に止まり糞をして道路を汚染して見苦しい。このような街に観光に来る観光客は気の毒だと思う。不潔な感じがする（乾燥して風に舞い吸引すると喘息になる）。家の庭にまでやってきて地上に降りてサッシをたたき悪さをする。以前はこのようなことはなかった。3～4年前からひどくなったように思える。私は最近Uターンをして大野市に戻ってきたので大野市のカラスに対する取り組みは何も知りませんので何かされているのなら申し訳ないですがなんとか改善していただきたい。この間、勝山市に行ってきましたがこんなことは起きていなかった。カラスを山に追い返す取り組みを強く望みます。
- ・不法投棄を取り締まってほしい。道路のごみが多い、対策してほしい。マナー向上を願う。
- ・空き缶やごみの放置が気になるところがまだまだ多いように思う
- ・人気のない山道などに空き缶等のごみが捨てられている。みんなが少しでも環境に対する意識を高めることで少しずつ良くなればと願います。
- ・道路および周辺農地、排水路へのごみ投棄が特に多いように思います。市民への禁止呼びかけや道路サイドの草刈等を積極的に行ってほしい。空缶、ペットボトルは設定した回収機関へ持ち込めば、1ついくらかでかいとるようにすれば、投棄はなくなるのではと思います。
- ・屋外でゴミを燃やしている人がいる。
- ・可燃ごみに出さないで家前で各家庭は何を燃やしているのか？
- ・家庭でのごみ焼却や野焼きを取り締まってほしい。

### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・河川の清掃などボランティアイベントをする。
- ・堤防の草刈など周辺の環境を良くする為、ボランティアなどでできないか
- ・名水百選に選ばれた町、でも市民の中には平気で川にごみを捨てている人、川の上で清掃したモップをはたいている人、草をむしりながら川（側溝）へ捨てている人を見かけます。町内で川清掃をするとゴロゴロ空缶が出てきます。子供たちの見本となるべき大人がしている事。大野は水が良い所って自信持って言える町作りが必要です。小さい子供の時から水を大切にすることが大切にしてほしい。
- ・大野の水、空気、自然はとて貴重で健康でいられるのはこの環境のおかげだと思っています。後世に残してあげたいと思います。新型コロナがあり、自粛生活になりましたが、幸いなことに田畑があり仕事も三密を避けながら働くことができました。私は町から田舎に嫁に行き農作業は何も知りませんでしたが、今回、田んぼや畑があつてよかったとつくづく感じました。水も空気もきれいだからおいしい米や野菜が採れます。人の基本は「食」です。安全なもの食べて山々の自然に囲まれて生きていけることは本当に幸せなことです。六呂師の星はとて近くてきれいで牧場には牛がいて鳥の音が聞こえて草花が次々と咲きほこります。大野を出た息子たちは、米、野菜、しょうゆを持っていきます。やっぱり大野産はおいしいんですね。

### 良好な景観形成及び歴史的文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的文化的遺産の保存ほか）

- ・こぶし通りの歩道脇の草を刈ってほしい。
- ・あちこちにある廃家を何とかして下さい。景観も悪いし何より危険です。この冬は積雪が少なく難を逃れましたが、いまにも潰れそうな建物が大野は多いです。
- ・フラワーロードや各地区の芝桜等、とても良いと思う。人口が減少しなければもっと良いのですが。
- ・大野市のシンボルである越前大野城真下の新堀川の汚れ、観光客の方に恥ずかしいです。新堀川をミニ河川公園の様にして県外の方が越前大野城観光後の憩いの場にしたなら、また市の魅力になりますね。新堀川と国道は県内外の方が目にします。もっときちんと整備すべきだと思います。

### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野市の水を守ってほしい。
- ・地下水は大野の宝です。子孫に残すべき大切なものである事を市民の共通認識とすべきだと思います。
- ・名水百選等をもっとアピールしてほしい

### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・紙・プラスチックのリサイクル→石油や木材の利用をおさえる。森林木材の伐採をおさえる。

### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・私は主婦なので、ごみの減量に取り組んでいる事例を詳しく教えていただけると、すぐに活用できるかと思っております。
- ・不要になった衣類、家具等のリサイクルの仕組みがもっとわかるように周知してほしい。
- ・全ての物が再利用できることを示し、市民にPRする。

### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・原子力にはどちらかといえば福島後、否定的な立場ですが、京都議定書はどこへ行ってしまうのでしょうか？

### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・それぞれの家庭でできることをもう一度考える
- ・市民一人ひとりを尊重し、大切に思う社会を作れば、自然環境を自分のことのように考える社会を作れると思う。
- ・高校生、中学生、小学生、幼児、小さい時から生きていく上で何が大切なことか、しっかりと導いていくことが必要だと思います。勉強最優先の現今では、正しい心が育たないと思います。そんな子供達がおおきくなってこれからの日本がどんな国になっていくのか。今現在の日本を作ってきた私たちが受験競争の中で育てられ正しい心を育むゆとりの中で大人になり、今の世の中を作ってきたのです。この現実をしっかり見つめ、未来をどうするかを考えていかなければと思います。
- ・今の市大野市内より昔の川がある五番や並木道の六間通りなど、昔の大野の町並みにしてほしい気持ちでいっぱいです。大野はどれだけ頑張っても田舎なのだから、この際田舎を売りたければいいと思っています。例えば大野の美しい空気を缶詰にするとか、大野の星空を描いたハンカチストールなど、持ち歩きしてもらえる物、お土産を包む紙に星空を印刷するとか、少しでも自然の大野を知ってもらうことをしたらいいと思います。大野の物産で素材を主に売り込むなどしたらいいと思います。あまりおしゃれにしないでいいと思う。
- ・環境問題は市大野市だけの取組ではその効果も限られてしまう。そのため、少なくとも隣の地域（勝山市・福井市・池田町など）と協力して活動すべきである。行政の区割りを超えて大野な目で長い目で取り組みましょう。もちろん市民の意識改革も必要だと思います。

## ◆70～79 歳

### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・下水道の整備を早くしてほしい。
- ・ペットの飼い方。猫はかわいがりに主に放し飼いをしているが、畑等を歩き回り、また、土をほじくり返すので、飼い主は飼い方を考えてほしい。また、犬は散歩に連れて歩くのはいいが、シャベルや袋は持っているだけでふんは川や畑、他のほうへ投げ入れている。近くに他人がいるときだけ袋に入れていようだが、それを離れたところにいけば放り投げている姿をよく見かける。
- ・資源回収に取り組む中で空き缶、ごみのポイ捨てをする者がいることが信じられない。区長会等で再確認してほしい。

- ・最近ペットを飼っている人が多くなっているが、特に犬を散歩に連れていき、フンを道端にして飼い主が持ち帰るようになってきているが、ほとんど守られていない。小川を清掃する時、フンが小川の少ない水の中に沢山あるのは不潔で掃除しにくい。ペットマナーを守るようもっと強く指導願いたい。
- ・先にあげましたが近所に迷惑がかかるような工場は郊外へ出ていただきたい。自動車のエンジンのかけばなしをやめる。最近は大野も大分環境も良くなっていると思いますが、昔のように蛍のすめるようになるとまだまだ楽しいと思います。夜空を見、蛍を見、夢です。

#### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・背割りの側溝の汚れ、土砂を何とかしてほしい。
- ・河川を汚さない。
- ・町内河川の水あかや藻がたまって困っています。石だたみの石がはがれやすい。
- ・自然保護は個人力では限界があると思う。山林、河川に於いては公の大なる努力をのぞみます。
- ・ドブをきれいにほしい。
- ・山林（里山含む）の手入れを行っていただきたい。ただ単に間伐するだけでは環境は良くならない。
- ・六呂師高原を友人と歩いたりしますが、歩けるコースが少ないので、もっと多いといいと思います。
- ・大野市の田園風景
- ・少子高齢化の時代、今、農業は人手不足に困惑している。しかし、国では担い手育成で農地集積して大型農業を促進している考え方は良いが、負担金は今更困難を極めるとの足の思いである。何とか、自分たちも農業を楽しみ稲作野菜作りができないものか思いを巡らす環境破壊にも繋がり思案するところである。今SDGsで持続可能な開発目標の平和構築や気候変動に対する災害対応も大切と考えるが、今現存する農業の改築も必要である。

#### 生物の多様性の確保（生物の保存・生息環境の保全ほか）

- ・クマの食べる実の木を山に植える。
- ・本願清水に昔みたいにイトヨ（はりしん）がたくさんいるような環境になってほしいです。

#### 良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・観光地をきれいに（特にトイレ）。道路に面した空き地の清掃。町中の制限速度をオール40km。亀山公園の一斉清掃と町の案内パネル。カラスのフン対策。

#### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・地下水をいつまでも守り続けたいと思います。枯れないようにする為に私たちにできることを提案してほしいです。

#### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源、省エネルギーの推進ほか）

- ・ムダな電気は使わない。
- ・省エネに心がけている。

#### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・レジ袋は店関係は一切出さない。ごみの分別によりリサイクルはどの様にするか勉強会ができるとよい。
- ・農家が使用済みのマルチを行政が回収してくださると、川に流れたり風で飛ばされたりを無くすることができるのではないかと思います。
- ・ごみを少なくしたいです。時々県外の人に場所を聞かれるので説明書があるといいと思います。
- ・過剰な包装やチラシなど無駄さを省くために心がける必要があると思われます。
- ・ごみの件、資源ごみになるものは、日々のごみ袋の中に入れてほしいです。市内スーパーみたいにポイントをためて集まる活動に力を入れてほしいと思います。（言うだけは楽ですね。すみません）
- ・焼却場の持込を幅広くする。1升ビン取らない。割って出すと取る。家電、農業資材等。

#### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・エコカーには減免（税金免除）等行う。
- ・車の多い福井県はエコカーに対して購入補助金をもっと増やしてもらおうとハイブリッド車を使用する人も増えると思います。
- ・ボランティア活動で年配者の生きがいを持つような活動ができるように何かかなと思っています。地球温暖化の件について一応テレビなどで聞いていますが、あまり詳しくわかっていません。現実的な問題として一般市民一人一人が知っていくことが大事だと思います。地球温暖化のわかりやすいチラシなど配布される等意識化できるように市として取り組んでいただきたい。
- ・年々夏の気温が上昇してきて限界です。市民一人ひとりが自覚をもたなければならぬ事、もっともって呼び掛けてください。
- ・地球温暖化のために、近くの（スーパーなど）買い物は自家用車を使わないで、徒歩か自転車を利用しようと思っています。
- ・自動車の運転を控えて自転車の利用をすすめた方がいいと思います。そのためには道路の整備が前提となります。

#### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・市の環境問題、温暖化防止の対策をまず、市民一人ひとりの努力、実行にあると思っています。それには市役所より活動スローガンを作ってください。市民一人ひとりに実践できるように提案して下さると良いかと思っています。
- ・行政が取り組むことは前提だが、市民一人ひとりが考えていかなかったら、行政がどんなに願ってもダメだと思うので、一人一人が気づける様に広報紙などで都度掲載していく必要があると思う。

#### その他

- ・人口減少が年々増えているようです。大野市も10年度には2万5千人くらいになると聞いています。その為、空き家空き地が増え続けているように見えます。町内も高齢化が進んでおり、10年後は大変なことになると心配しています。市のほうでも環境部会などいろいろと対策をしているようですが、10年後を見つめて地道に結果を出してください。3年後には、中部縦貫道路が開通します。中京方面から大勢の人が大野へやってくると思います。その中から若い人を中心に転移希望者が多く出ることを願っています。「テレワーク」で仕事ができる時代です。
- ・環境についても、市のほかのことも、意見を聞いたり、議論するにしても、同じ人がいくつも役を持って同じ人の意見しか聞いていないように思う。もっと幅広く役を分けているんな人の意見を聞くといいと思う。大野市をよくするには広く意見を聞いたほうがいいと思う。市への関心が高まると思う。
- ・この問題について各方面へ各団体が交流、研修を行っていらっしゃるようですが、その結果をどのように取り組んだかということが伝わってきません。いいと思われる案が出た場合は少々無理があっても押し進めてみるのも一考かと思えます。若い女性市長とともに職員の皆様も頑張ってください。私たちはほとんど声を発することもありませんが、絶賛応援しております。大野の未来を信じて！
- ・この年齢になり地域の人様に迷惑の掛からないように生きるのに一生懸命です。
- ・町、村をもっと明るくしたい。おきなわの様にどんな時でも笑いを忘れないように明るい大野にしてほしい。
- ・昔からある古い旧道や山道をサイクリングするのが好きなので、よく行っています。その景色がずっとあるとよいと思うことがあります。しかし、街の中を自転車ではしていると、道路の状況が悪く、とても走りにくいと感じる事が多くあります。でこぼこがたがた。個人的な意見ですみません。
- ・外部のために環境を良いものにしようとしか思わない。市民がその気になっても市の協力がなくてその気を失ってくる。

## ◆ 80歳以上

#### 公害の防止（水質汚濁・大気汚染・不法投棄・ポイ捨てほか）

- ・ごみのポイ捨て相変わらず赤根川中流に住むものとしては文化大野、福井などで遠慮ですね。
- ・昔は車のエアコンの冷え具合が悪くなった時、ガスの少量充填であったが、現在はすべてエアコンガスを抜き新品ガスだけで満タンにし、古いガスは空気中に放出することを知り驚きました。ガソリンスタンドはそのほうが利益が上がるとのこと。大きな問題と感じました。
- ・市は焚火はしないことと言っているが私にはわかりません。燃やす人はほとんど燃やしているが市は見ても見ぬふりしかありません。何が温暖化ですかね。
- ・田園の中に道の駅ができ毎日土ほりに悩まされている。少しは自分たちの身に置き換えて考えてほしい。

#### 自然環境の体系的保全（河川環境・農地環境・山林環境・その他自然全般ほか）

- ・川にごみを捨てない。～きれいな川に。
- ・地球温暖化や酸性雨などで土壌が酸性化しているので、私たちはアルカリ性に戻し、おいしい野菜、米作りに日々頑張っております。それがピロール農法です。少しでもピロール農法が浸透し、みなさんにおいしい米、野菜を食べてほしいです。

#### 良好な景観形成及び歴史的・文化的遺産の保存（良好な景観形成・歴史的・文化的遺産の保存ほか）

- ・道路や川にごみが多い。これ以上、山や田園を開発し、緑を少なくしないでほしい。便利を求めて道路にした結果、地球温暖化に拍車がかかっている。気温が高くなり悪循環です。使用頻度の少ない箇所（道路など）アスファルトを除き、植樹し公園にしてはどうでしょうか。
- ・私の地区は、保育所、中学校、高校生の主要通学路にあたり、地区の特性を活かし毎日主要路のごみ拾い、除草をし、心に残る地区づくりに努めている。大人になった時、古里はきれいだったと思いたし、I、Uターンにつながればと気持ちでいる。観光客誘致の先にやるべきだと思います。地区の特性を活かした町づくりが大切だと思います。地区民、他地区の協力者が多くなってきていることに感謝しています。

- ・こぶし通りにこぶしが枯れているので植え直してください。
- ・亀山も大切にしたいところです。係りの方が細かく整備してくださるのに感謝申し上げます。

#### 地下水の合理的利用及びかん養対策（湧水地環境の保全・合理的利用ほか）

- ・大野の地下水は何より自慢なので節水に心がけ生活する。

#### 資源及びエネルギーの有効利用（自然エネルギーの利用・省資源・省エネルギーの推進ほか）

- ・なるべくエアコンを付けない等、電気を使わないように心がけている。

#### 廃棄物の減量及びリサイクルの推進（廃棄物の減量・リサイクルの推進ほか）

- ・エコバッグは数年前から。資源ごみの分別はしっかり行っている。これくらいしかできていませんが、ほかに取り組みがあればやりたい。
- ・ごみを減らす。包装やパッケージの過剰など。

#### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・温暖化防止については難しい。
- ・温暖化（地球）によって大野地区の積雪が少なくなることとグローバルの差に老齢の身としては判断に苦慮しています。

#### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・市民一人ひとりの心がけが必要です。
- ・あった人への言葉かけ。人間としての思いやり。

#### その他

- ・若者の市外へ仕事に行くのを止めるため働ける場所を作り出し地元に着定するようお願いしたい。後継者の不在で空き家が増加している。
- ・もう少し大野という町を知ってもらいたいです。

## ◆年齢無回答

#### 地球環境の保全（地球温暖化の防止ほか）

- ・大野市役所や七間通りに「緑のカーテン」を設置し、市外からの訪問者に大野市の取組をアピールする。「緑のカーテン」を設置することで”マチ”の景観を向上させることができる。市外にこの活動を発信することによってほかのマチの参考になる。
- ・小中学生の授業の一環として学校や公共の施設にグリーンカーテンを作る。

#### 総合的な環境対策（情報提供・環境教育と学習の推進ほか）

- ・SDGsが正しい指針である以上、早くやったもの勝ちにならないところがあります。マスコミが目指すような施策をどんどん進めてほしい。市民は後からついてきます。17の指針それぞれに大野の行動目標を定める。小中学校に特設科目「SDGs」を加え、内閣府連へ派遣しSDGsを学ばせる。針葉樹を全て広葉樹に植え替える（花粉対策）。西谷、五箇、和泉を完全なインターネットフリー区にする。いっそ市役所を17の部署（指針）に再編する。SDGsに取り組む企業・市民への支援と次世代に対する教育への投資を辛抱強く続けていくことが最も大切ともいます。

#### その他

- ・どんな活動をするにも予算が必要。無能な市議会議員を減らすことが大野市民にとって大切だと思う。市議会議員にはボランティアでもやるといふ心意気のある人がなり、定数を減らして環境保全のためにお金（税金）を使ってほしい。
- ・着々と進む道の駅越前大野あらしまの郷について一言。県下に誇る大きな規模の道の駅、将来において負の財産にならないように。近隣の市町民が気軽に足を運べる、立派な温泉施設を造ってはどうか。将来的にもにぎわいが取れると思いますか？